

令和2年度 第2回関市立図書館協議会

日 時：令和2年12月16日（水）

午後1時30分から

場 所：関市役所 6階 6-2会議室

会 議 次 第

1 あいさつ

2 議 題

① 「関市子どもの読書推進計画」に関するアンケート調査結果報告

② 「関市子どもの読書推進計画」改定骨子について

③ その他

令和2年度 関市立図書館協議会委員名簿

【任期 R1.6.1~R3.5.31】

番号	氏名	区分
1	樋口 緑	学識経験者（教育全般）
2	波多野 壽美	学識経験者（幼児教育）
3	平川 貴久	学識経験者（読書推進、社会制度）
4	藤根 隆	教育委員会（市立学校代表：桜ヶ丘小学校長）
5	河合 裕子	各種団体（読書サークル）
6	太田 尚文	各種団体（社会教育委員）
7	藤井 和敏	各種団体（文化協会役員）
8	熊崎 好子	一般
9	船戸 真由美	一般

「関市子どもの読書活動推進計画」に関する
アンケート調査結果報告

令和2年12月

関 市

目次

1	読書活動に関するアンケート調査概要.....	1
	(1) 調査の目的.....	1
	(2) 調査対象者及びサンプル数.....	1
2	アンケート調査結果.....	2
	(1) 小・中学生調査結果.....	2
	(2) 5歳児保護者調査結果.....	13
	(3) 学校図書館主任調査結果.....	21
	(4) 保育園調査結果.....	28

1 読書活動に関するアンケート調査概要

(1) 調査の目的

「関市子どもの読書推進計画」改定のため、子どもの読書の現状を把握し、現状での課題を見つけ、それに対して必要な取組みや施策の方向性を探ることを目的とする。

(2) 調査対象者及びサンプル数

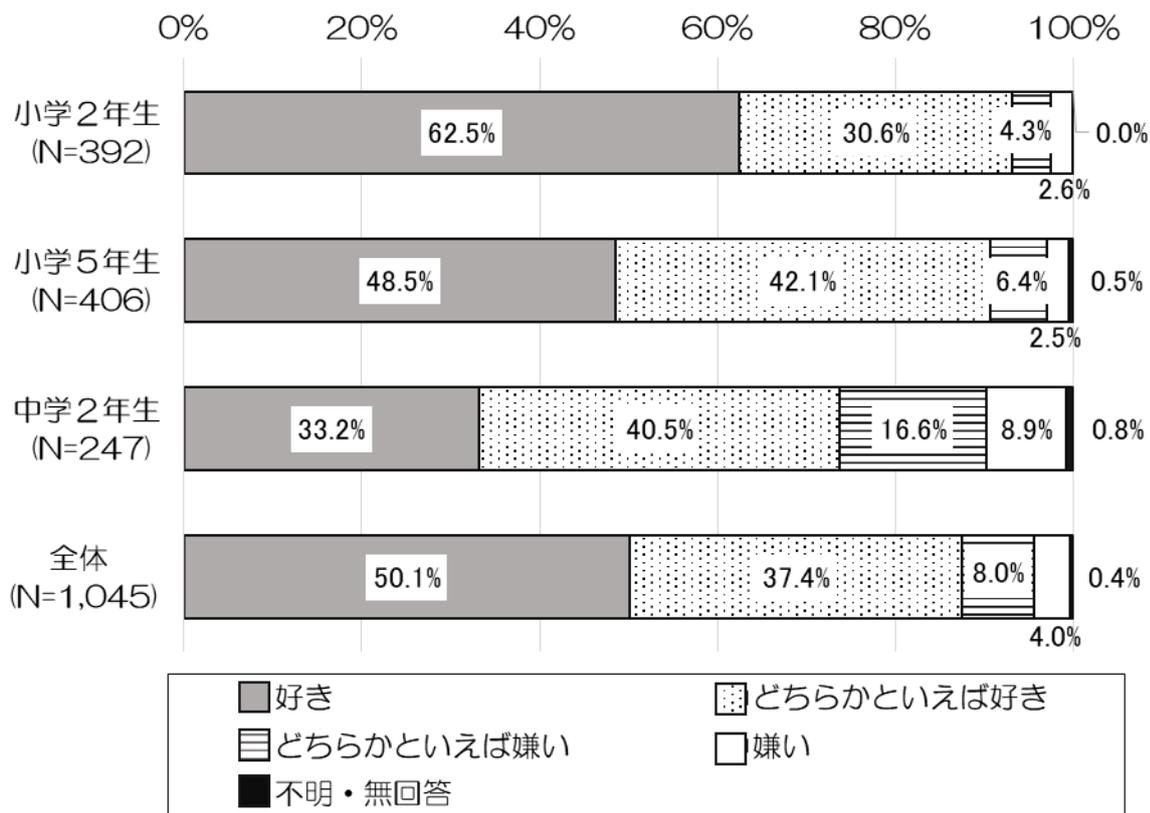
- | | | |
|-------------------------|-----|------|
| ① 小・中学生 | | |
| 市内全小学校2年生、5年生の各1クラスずつ | 2年生 | 392人 |
| | 5年生 | 406人 |
| 市内全中学校2年生の1クラスずつ | | 247人 |
| ② 幼児（5歳児）の保護者 | | |
| 市内19保育園のうち16園の年長クラスの保護者 | | 286人 |
| ③ 学校図書館主任 | | |
| 小学校 | | 18人 |
| 中学校 | | 7人 |
| ※（一部の質問で）学校図書館整理員 | | |
| 小学校 | | 13人 |
| 中学校 | | 5人 |
| ④ 保育園 | | |
| 公立園 | | 9園 |
| 私立園 | | 9園 |

2 アンケート調査結果

(1) 小・中学生調査結果

①あなたは本を読むのが好きですか。(単数回答)

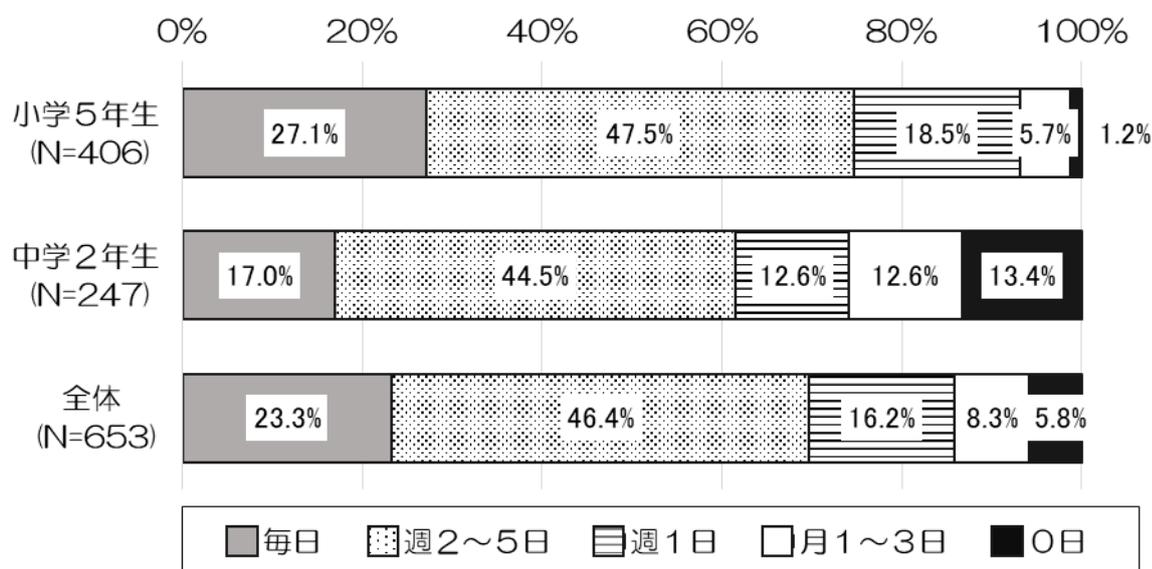
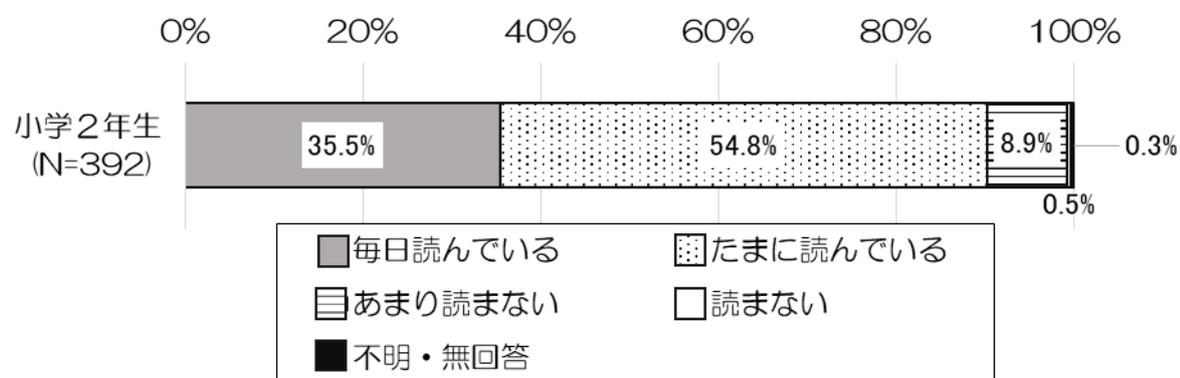
- 本を読むことが「好き」「どちらかといえば好き」と答えたのは、小学2年生では93.1%、小学5年生では90.6%、中学2年生では73.7%で、いずれも7割以上を占めている。
- 学年が上がるにつれて、「好き」と答える割合が減少し、中学2年生では小学2年生の約半分の割合となっている。
- 学年が上がるにつれて、「どちらかといえば嫌い」と答える割合が増加し、中学2年生では「嫌い」と答える割合も増加している。
- 全体では、約5割の児童・生徒が、本をよむことが「好き」と答えている。



②あなたは本を読みますか。(小2 / 単数回答)

あなたは1か月のうちどれくらい本を読みますか。(小5、中2 / 単数回答)

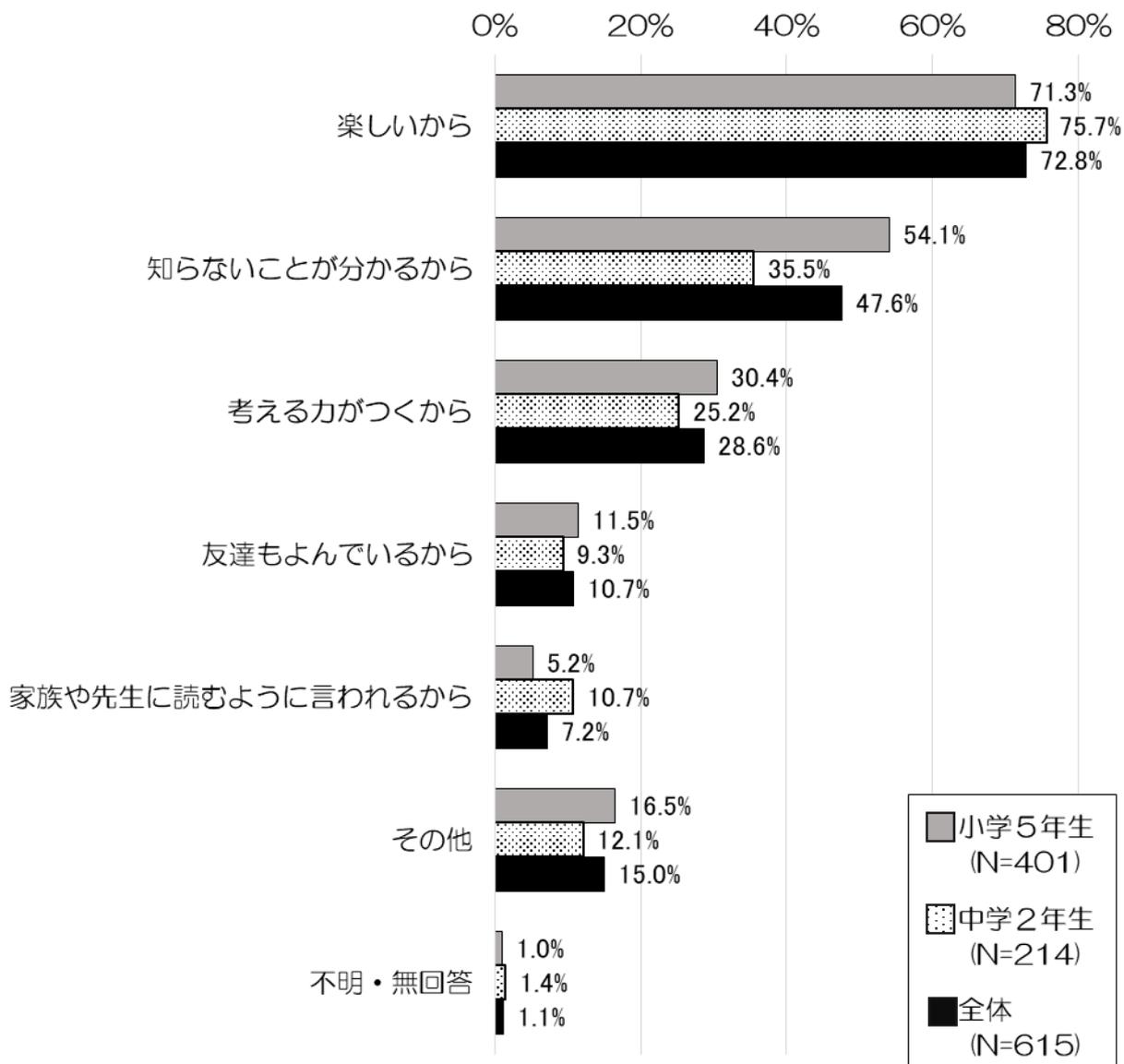
- 小学2年生では、約9割が本を「毎日読んでいる」「たまに読んでいる」と答えている。
- 小学5年生、中学2年生では、本を「週2～5日」読んでいると答えた割合が最も高く、次いで「毎日」「週1～3日」となっており、小学5年生では約9割、中学2年生では約7割が週1回以上本を読んでいる。
- 本を「毎日読んでいる」と答えたのは、小学2年生では35.5%、小学5年生では27.1%、中学2年生では17.0%で、学年が上がるにつれて割合が減少している。
- 本を「読まない」「0日」と答えた割合は、小学2年生では0.5%だが、中学2年生では13.4%まで上昇している。



③あなたが本を読む理由はなんですか。(小5、中2／複数回答)

※②で「毎日」「週2～5日」「週1日」「月1～3日」と答えた人

- 本を読む理由は、「楽しいから」と答えた割合が最も高く、次いで「知らないことが分かるから」、「考える力がつくから」となっている。



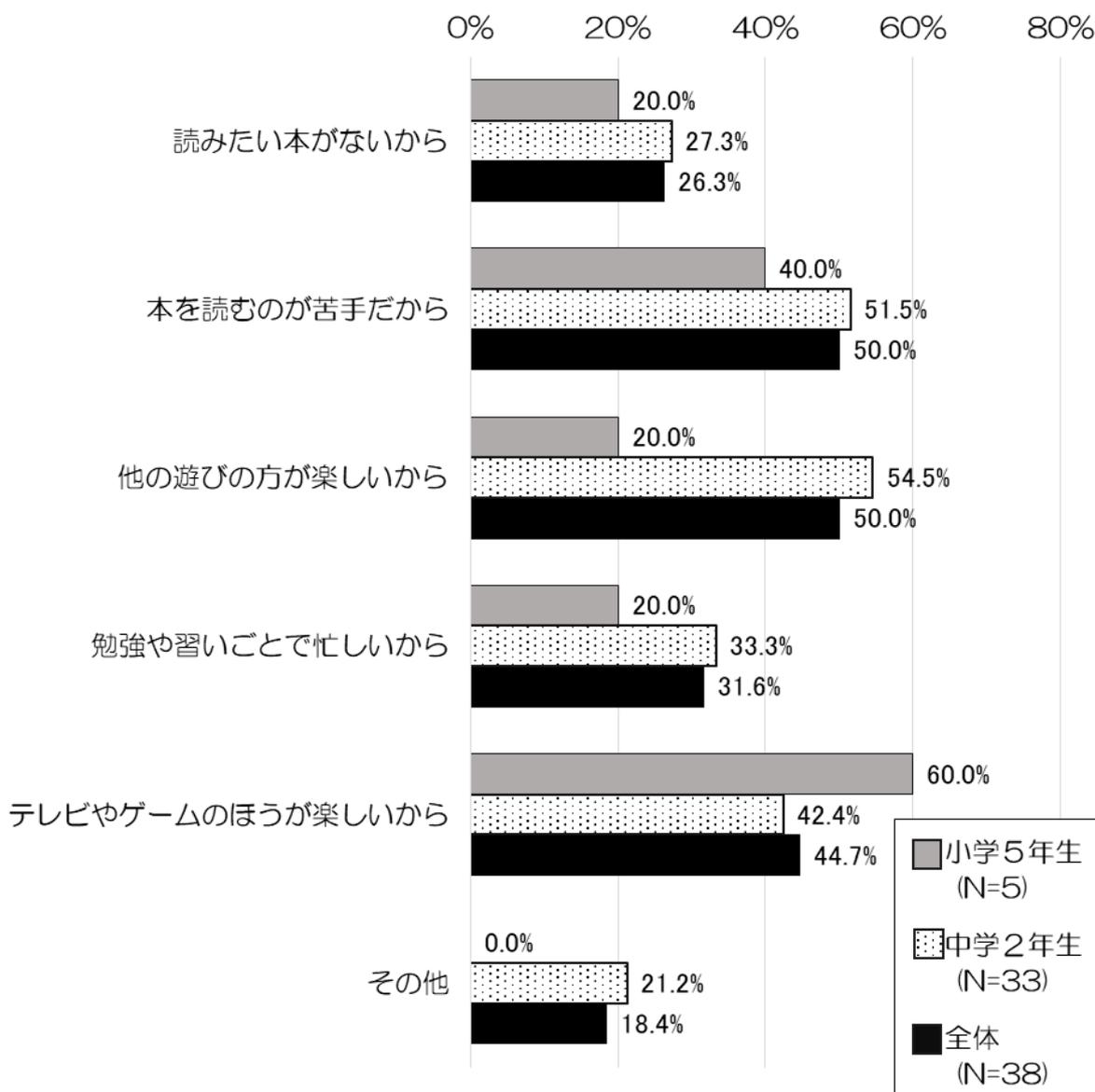
【その他の理由】

- 暇つぶし
- おもしろいから
- 知らない言葉や漢字が分かるから
- 想像力がつくから
- 気分が落ち着くから
- 自分の支えになるから
- 朝読書があるから
- 世界の見かたが変わるから

④あなたが本を読まない理由はなんですか。(小5、中2／複数回答)

※②で「0日」と答えた人

- 本を読まない理由は、「テレビやゲームのほうが楽しいから」「他の遊びの方が楽しいから」の割合が高く、読書よりも楽しいことがあると感じている児童・生徒が多いことがわかる。
- 本を読まない児童・生徒のうち約半数の割合が「本を読むことが苦手」と答えている。



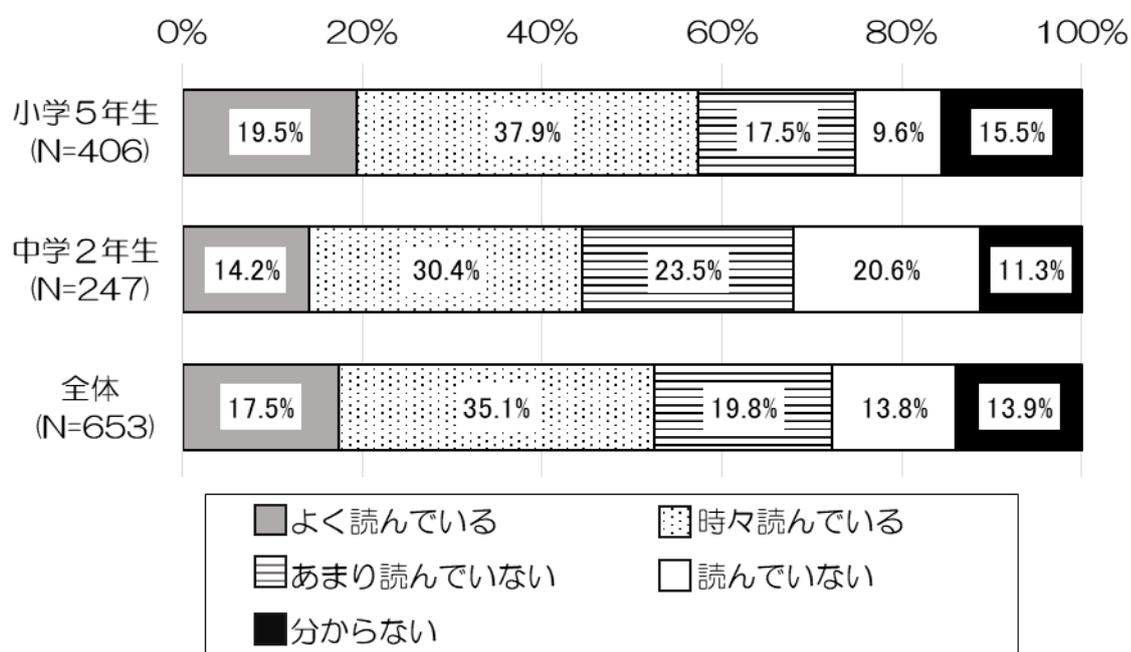
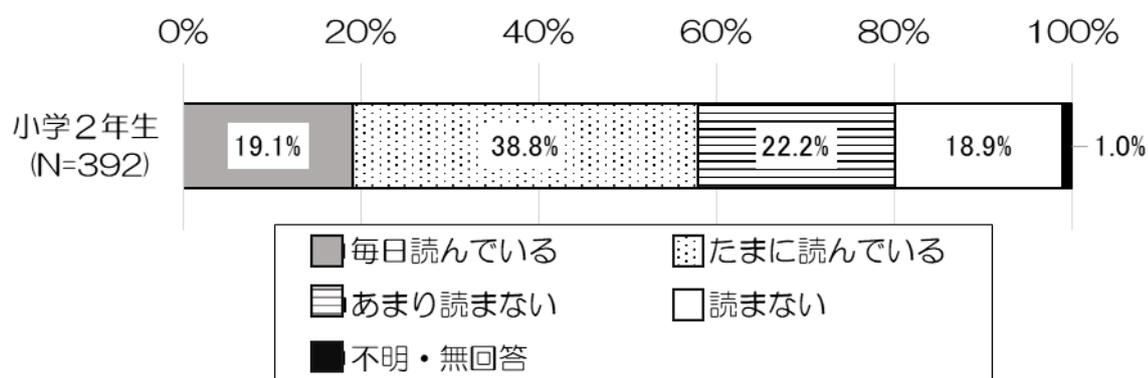
【その他の理由】

- めんどくさいから
- おもしろくないから
- 興味がないから
- 自分にあった本が分からないから

⑤あなたの家では家族は本を読みますか。(小2 / 単数回答)

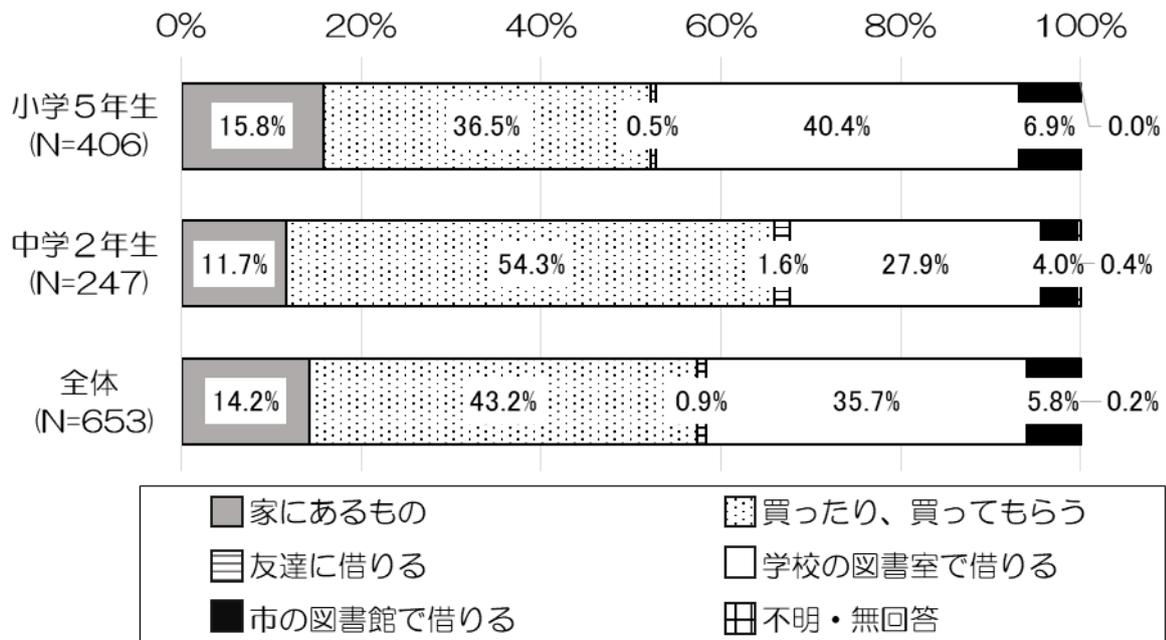
あなたの家では家族が本を読んでいますか。(小5、中2 / 単数回答)

- 小学2年生では家族が「毎日読んでいる」「たまに読んでいる」と答えた割合が57.9%、小学5年生では「よく読んでいる」「時々読んでいる」と答えた割合が57.4%で、小学生の約6割が家族の本を読んでいる姿を認識している。
- 中学2年生になると、「よく読んでいる」「時々読んでいる」の割合が44.6%と減少している。



⑥あなたは読む本を、どのように用意することが多いですか。(小5、中2 / 単数回答)

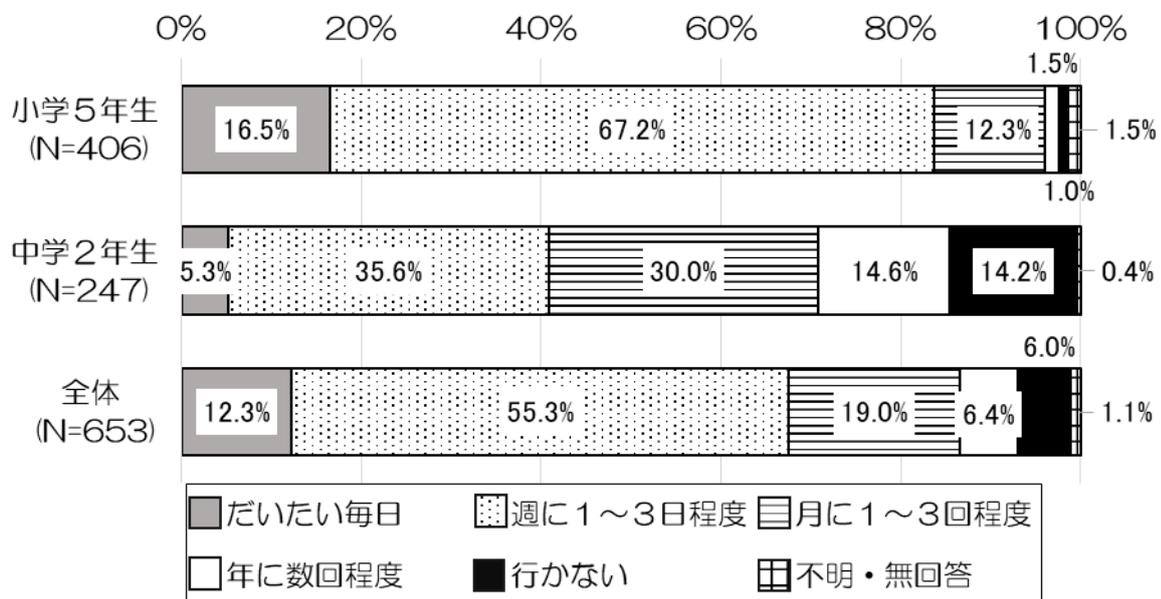
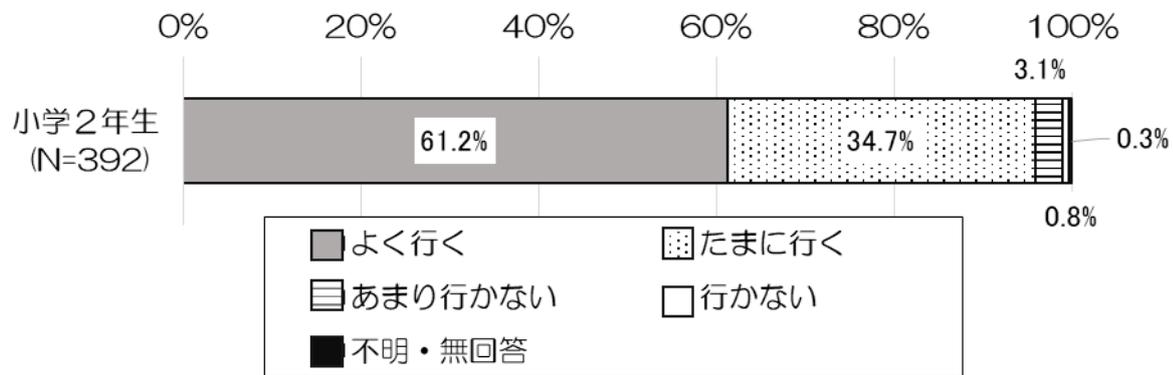
- 小学5年生では、読む本を「学校の図書館で借りる」と答えた割合が最も高く、中学2年生になると「買ったり、買ってもらう」と答える割合が最も高くなっている。



⑦あなたは学校の図書室へ行きますか。(小2 / 単数回答)

あなたは学校の図書室にどれくらい行きますか。(小5、中2 / 単数回答)

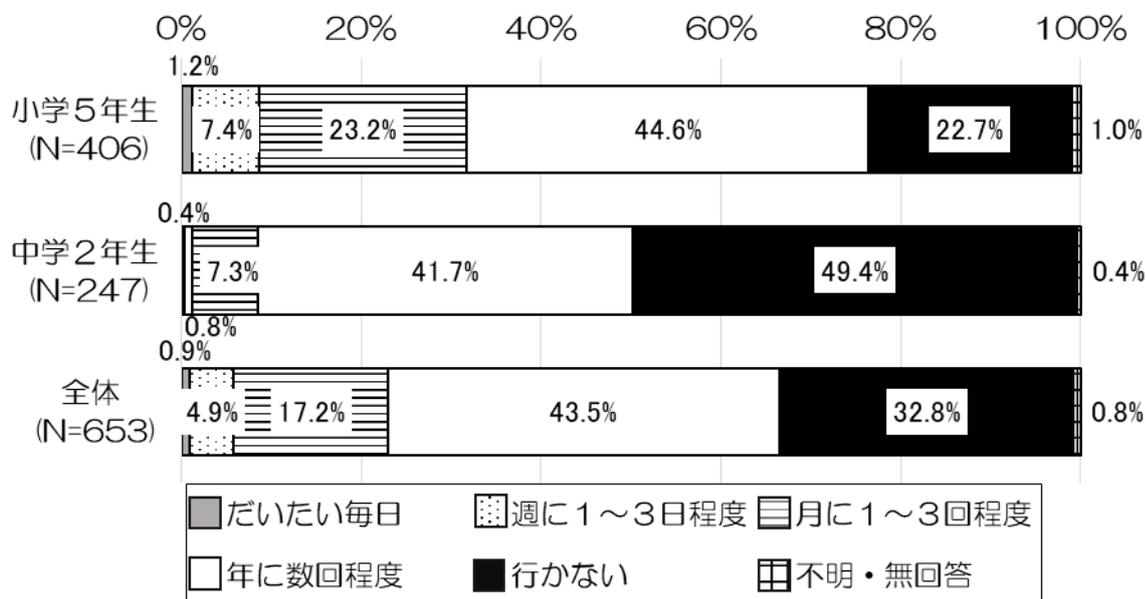
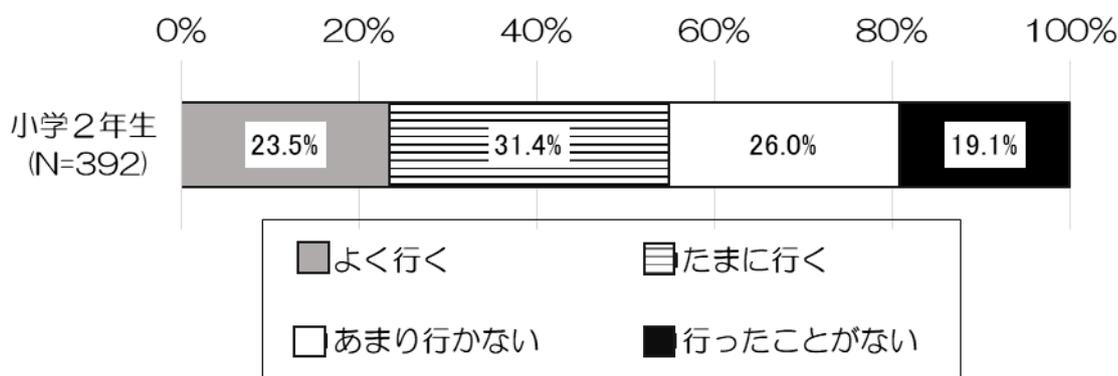
- 小学2年生では学校の図書室に「よく行く」と答えた割合が最も高く、次いで「たまに行く」となっており、合わせると9割以上である。
- 小学5年生、中学2年生では、「週に1～3日程度」と答えた割合が最も高いが、中学2年生の割合は小学5年生の約半分に減少している。
- 学年が上がるにつれ、図書室へいく回数が減少傾向にあり、中学2年生では「行かない」と答えた割合が14.2%となっている。



⑧あなたは市の図書館へ行ったことがありますか。(小2 / 単数回答)

あなたは市の図書館にどれくらい行きますか。(小5、中2 / 単数回答)

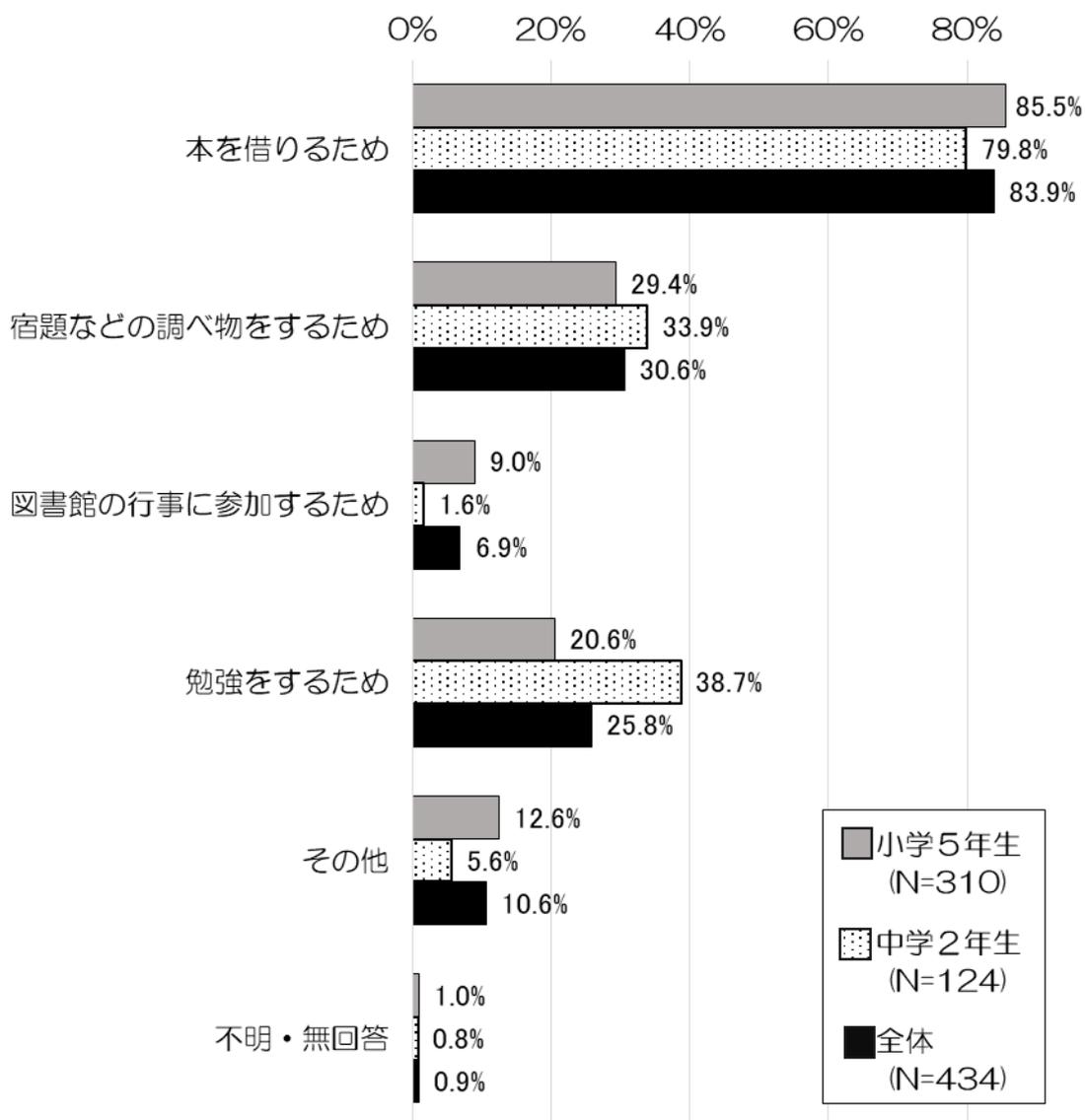
- 小学2年生では市の図書館に「たまに行く」と答えた割合が最も高く、次いで「あまり行かない」となっている。
- 小学5年生では、「年に数回程度」と答えた割合が最も高く、中学2年生では「行かない」と答えた割合が最も高い。
- 学年が上がるにつれ、市の図書館へいく回数が減少傾向にあり、中学2年生では約半数の生徒が「行かない」と答えている。



⑨市の図書館をどんなときに利用しましたか。(小5、中2 /複数回答)

※⑧で「だいたい毎日」「週に1～3日程度」「月に1～3回程度」「年に数回程度」と答えた人

- 市の図書館の利用は、小学5年生、中学2年生ともに「本を借りるため」の割合が最も高い。
- 小学5年生では、「宿題などの調べ物をするため」の割合が2番目に高く、中学2年生では「勉強をするため」の割合が2番目に高い。



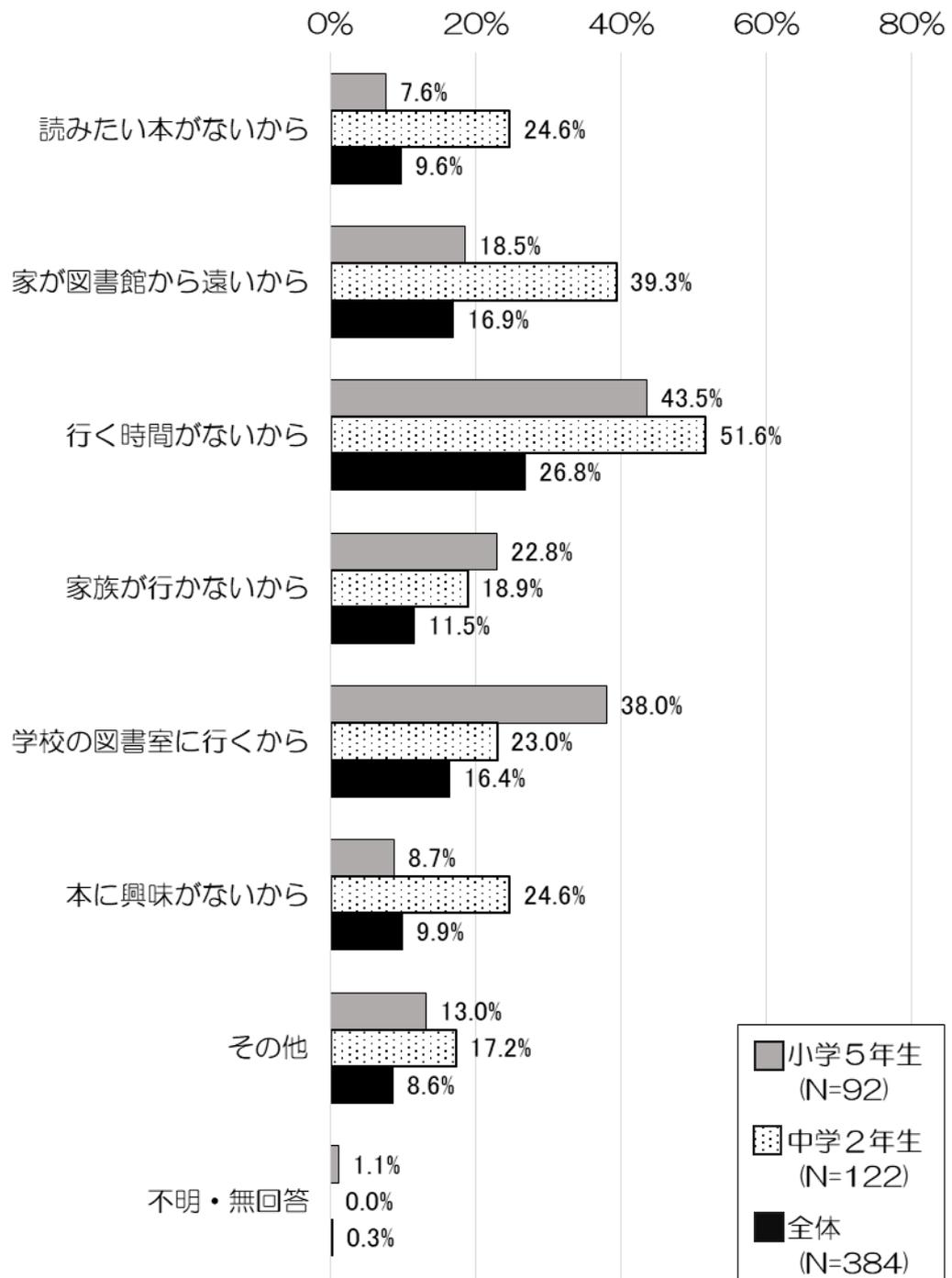
【その他】

- 読書感想文を書くため
- 学校の興味のあることを調べるため
- 本や雑誌を読むため
- 学校にない本があるから
- 家族が行くから
- ぼーっとしたいから

⑩市の図書館に行かない理由はなんですか。(小5、中2／複数回答)

※⑧で「行かない」と答えた人

- 市の図書館に行かない理由は、小学5年生、中学2年生ともに「行く時間がないから」の割合が最も高い。
- 小学5年生では、「学校の図書室に行くから」の割合が2番目に高く、中学2年生では「家が図書館から遠いから」の割合が2番目に高い。



【その他】

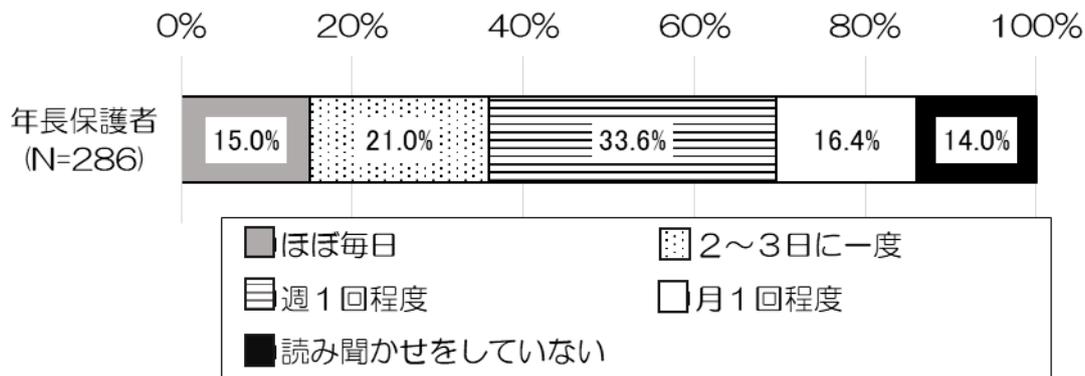
- 場所を知らない
- 本屋に行くから

- めんどくさい
- 電子書籍を利用しているから

(2) 5歳児保護者調査結果

①お子さんに絵本などの読み聞かせをしていますか。(単数回答)

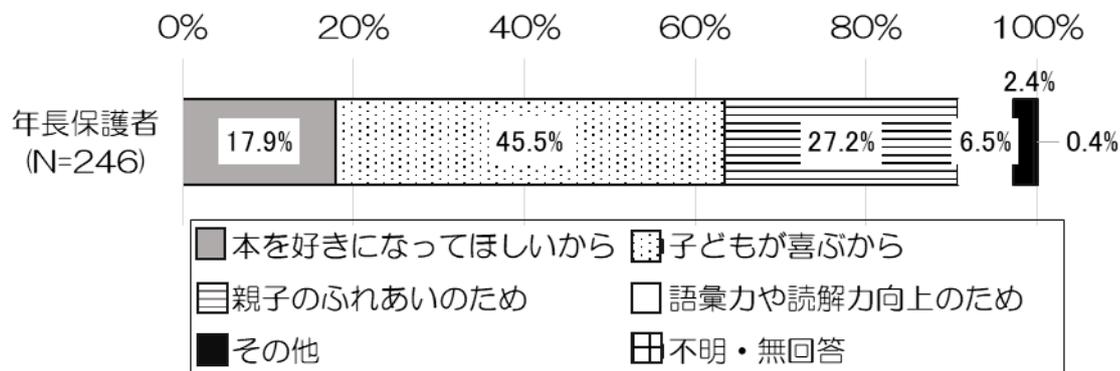
- ・読み聞かせを「週に1回程度」していると答えた割合が最も高く、全体の約7割が週1回以上は読み聞かせをしている。



②読み聞かせをする目的は何ですか。(単数回答)

※①で「ほぼ毎日」「2~3日に一度」「週1回程度」「月1回程度」と答えた人

- ・読み聞かせをする目的は、「子どもが喜ぶから」と答えた割合が最も高く、次いで「親子のふれあいのため」の割合が高くなっており、親子のコミュニケーションを目的として読み聞かせをおこなっていることがわかる。



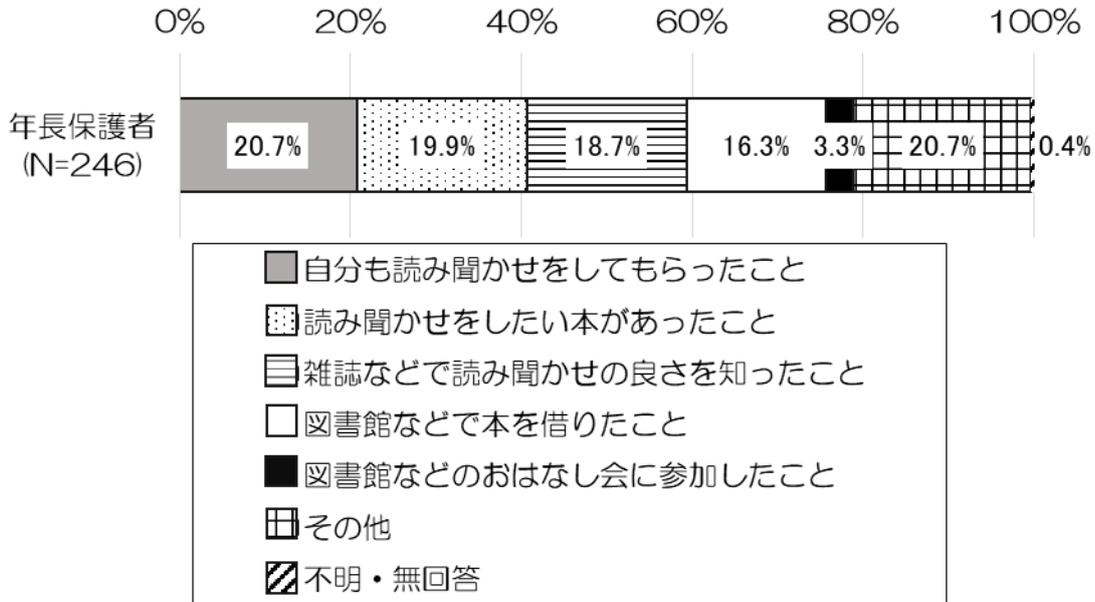
【その他】

- ・暇なときに

③どのようなきっかけで読み聞かせを始めましたか。(単数回答)

※①で「ほぼ毎日」「2～3日に一度」「週1回程度」「月1回程度」と答えた人

- 読み聞かせをするきっかけは、「自分も読み聞かせをしてもらったこと」と答えた割合が最も高く、次いで「読み聞かせをしたい本があったこと」「雑誌などで読み聞かせの良さを知ったこと」となっているが、上位4つまでの理由に大きな差はない。



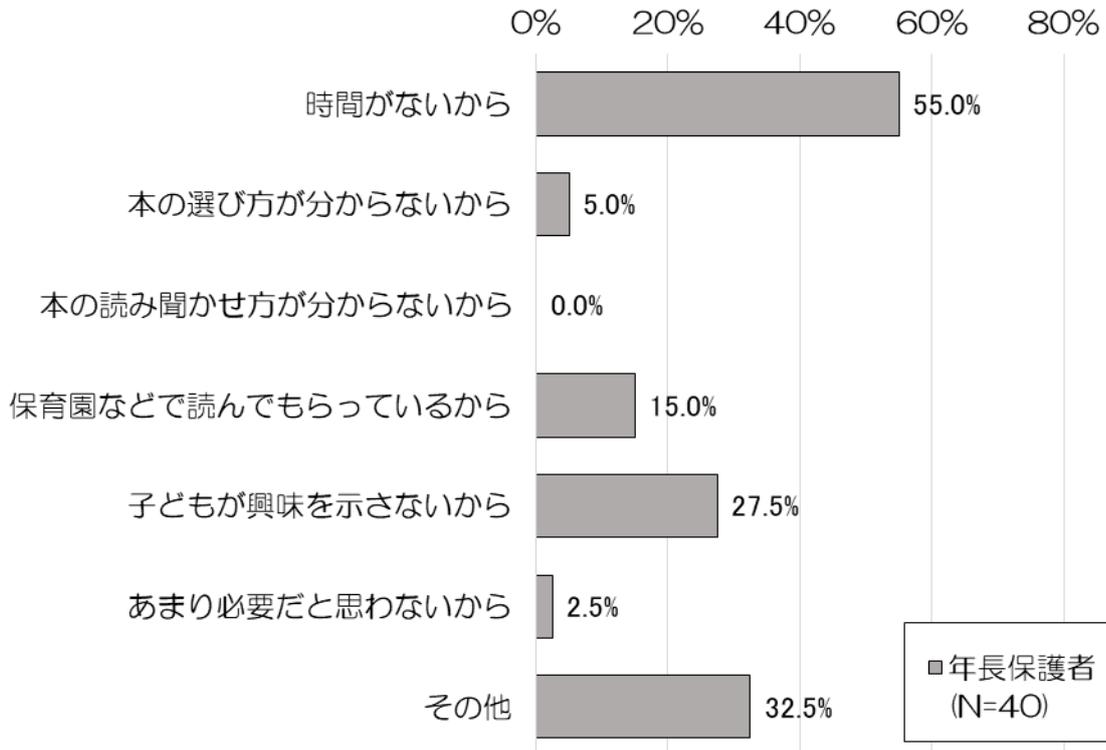
【その他】

- 子どもが読んで欲しがるから
- 保育園で本を借りたこと
- ブックスタート
- 寝かしつけのために
- 小さい頃からの習慣
- 家庭教育学級

④どのようなきっかけで読み聞かせを始めましたか。(複数回答)

※①で「読み聞かせをしていない」と答えた人

- 読み聞かせをしていない理由は、「時間がないから」と答えた割合が最も高く、約半数となっている。



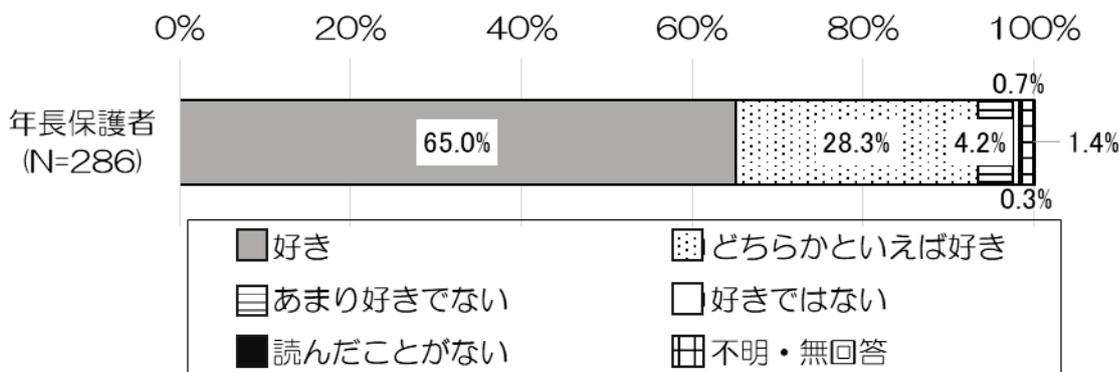
【その他】

• 子どもが自分で読むから

• 子どもが読まなくていいと言うから

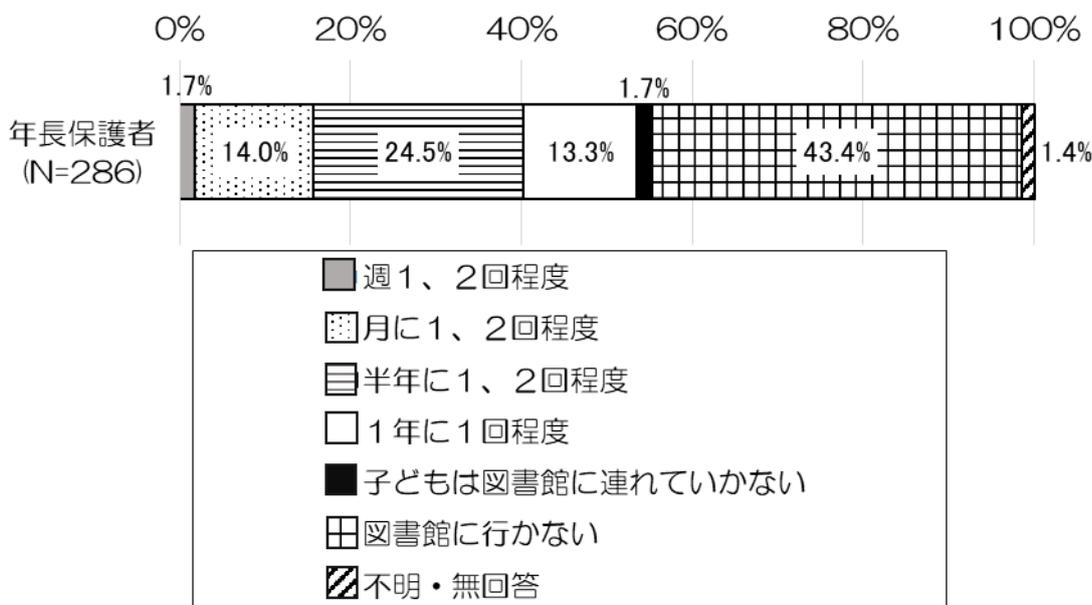
⑤あなたのお子さんは絵本や本を読んでもらうことが好きですか。(単数回答)

- 絵本や本を読んでもらうことが「好き」と答えた割合が65.0%で最も高く、「どちらかといえば好き」の割合とあわせると9割以上となっている。



⑥あなたはお子さんと一緒に関市の図書館に行きますか。(単数回答)

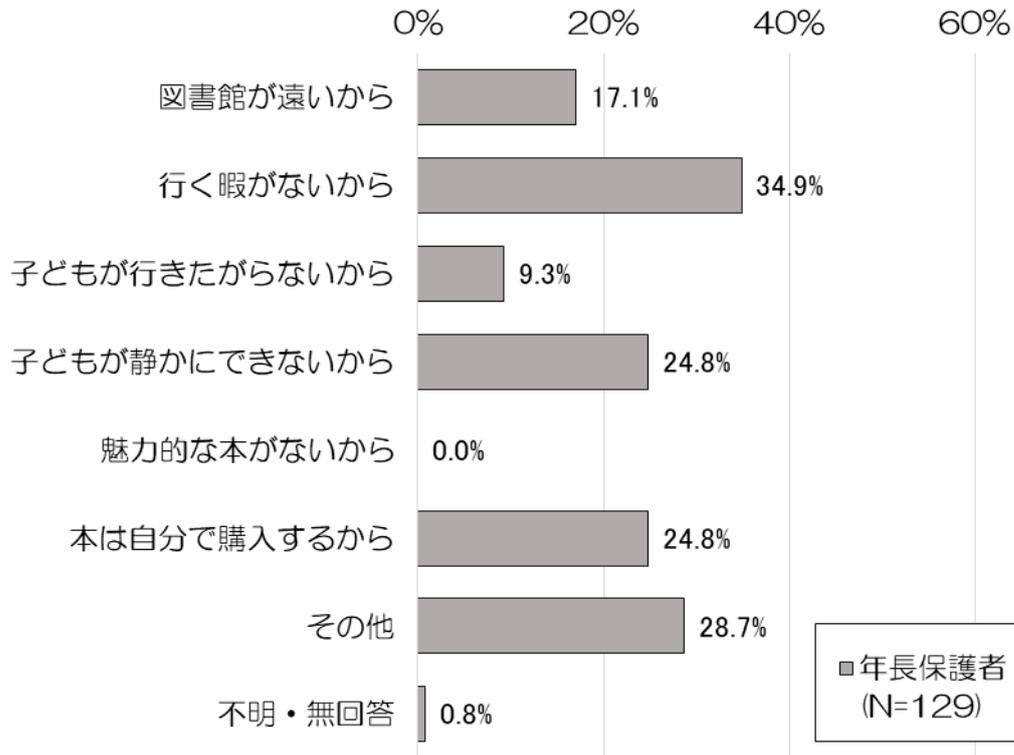
- 関市の図書館に行く頻度についての回答は、「図書館に行かない」と答えた割合が43.4%と最も高い。
- 次に「半年に1、2回程度」と答えた割合が高く、乳幼児連れの図書館の利用は少ないことが分かる。



⑦子どもと図書館に行かない理由は何ですか。(複数回答)

※⑥で「子どもは図書館に連れていかない」「図書館に行かない」と答えた人

- 図書館へ行かない理由は、「行く暇がないから」と答えた割合が最も高い。
- 次いで、「子どもが静かにできないから」「本は自分で購入するから」と答えた割合が高くなっている。

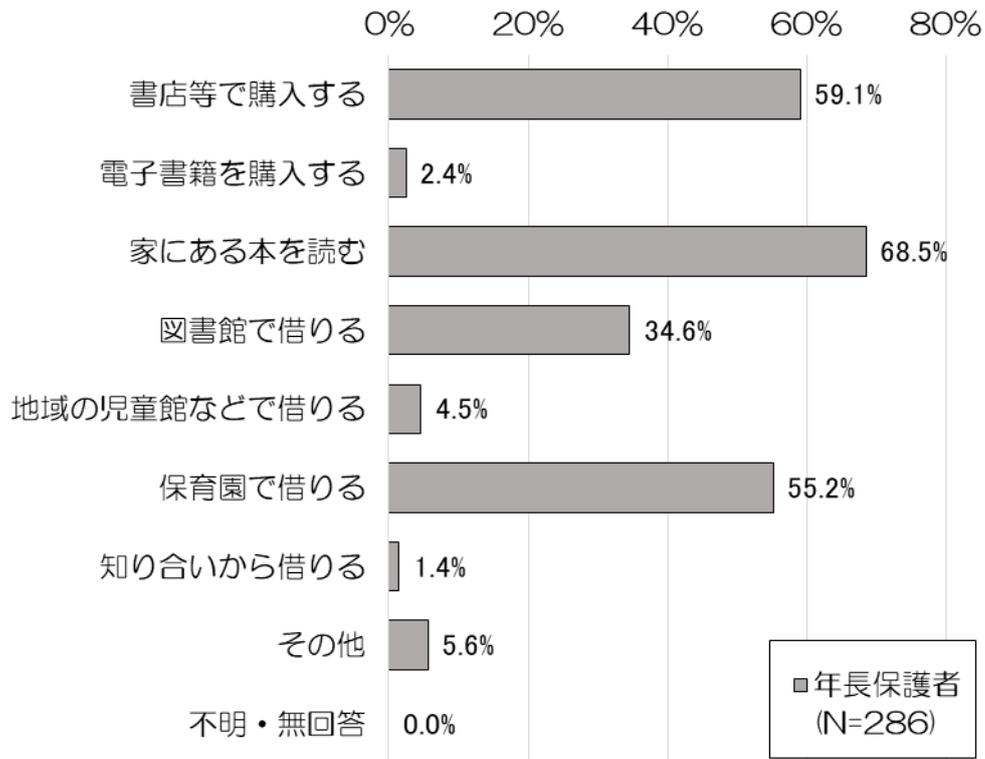


【その他】

- コロナで行くのを控えている
- 本を破損させてしまうのが怖いから
- 下の子を連れていくのが難しい
- 保育園で借りてくるから
- 時間が合わない

⑧あなたはお子さんにどのように本を用意していますか。(複数回答)

- 本をどのように用意しているかは、「家にある本を読む」と答えた割合が最も高い。
- 次いで、「書店等で購入する」「保育園で借りる」と答えた割合が高くなっている。



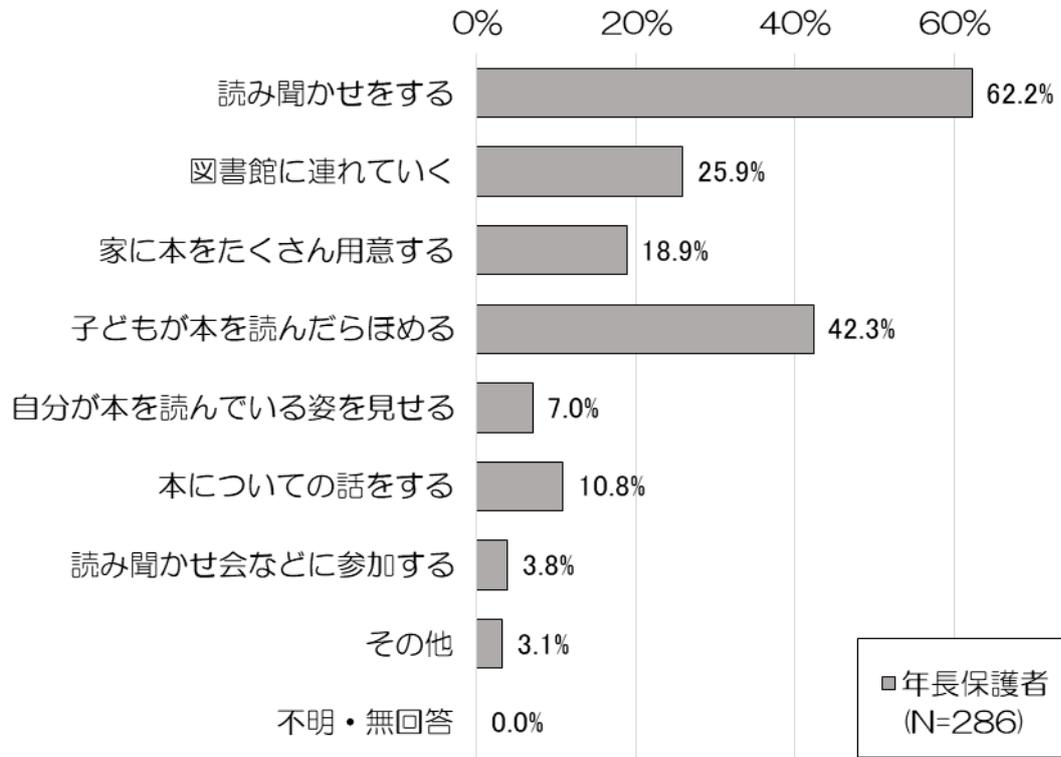
【その他】

• 人からもらう

• 園で定期購入している

⑨子どもの読書活動のためにしていることはありますか。(複数回答)

- 子どもの読書活動のためにしていることは、「読み聞かせをする」と答えた割合が最も高く、次いで「子どもが本を読んだらほめる」となっている。

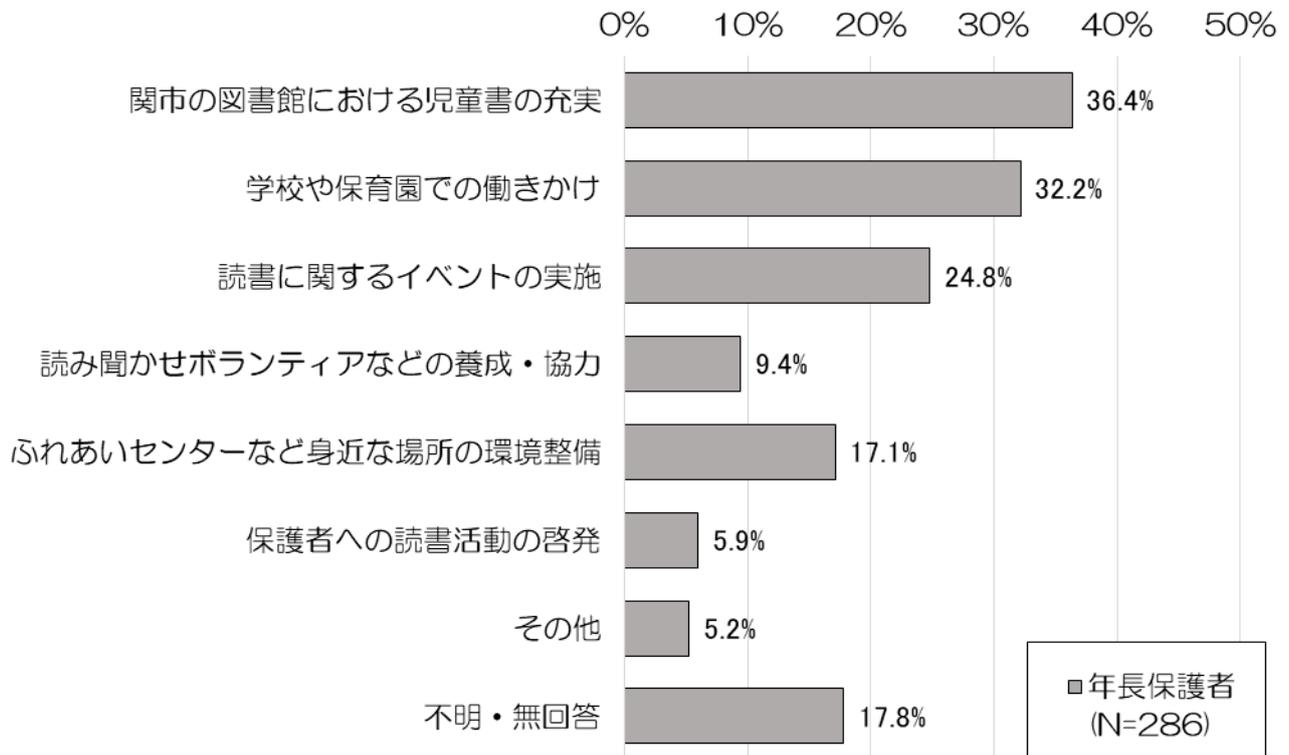


【その他】

- 特にしていない

⑩子どもの読書環境で今後充実させて欲しいと思うことはなんですか。(複数回答)

- 子どもの読書活動で充実して欲しいことは、「関市の図書館における児童書の充実」と答えた割合が最も高く、次いで「学校や保育園での働きかけ」となっている。



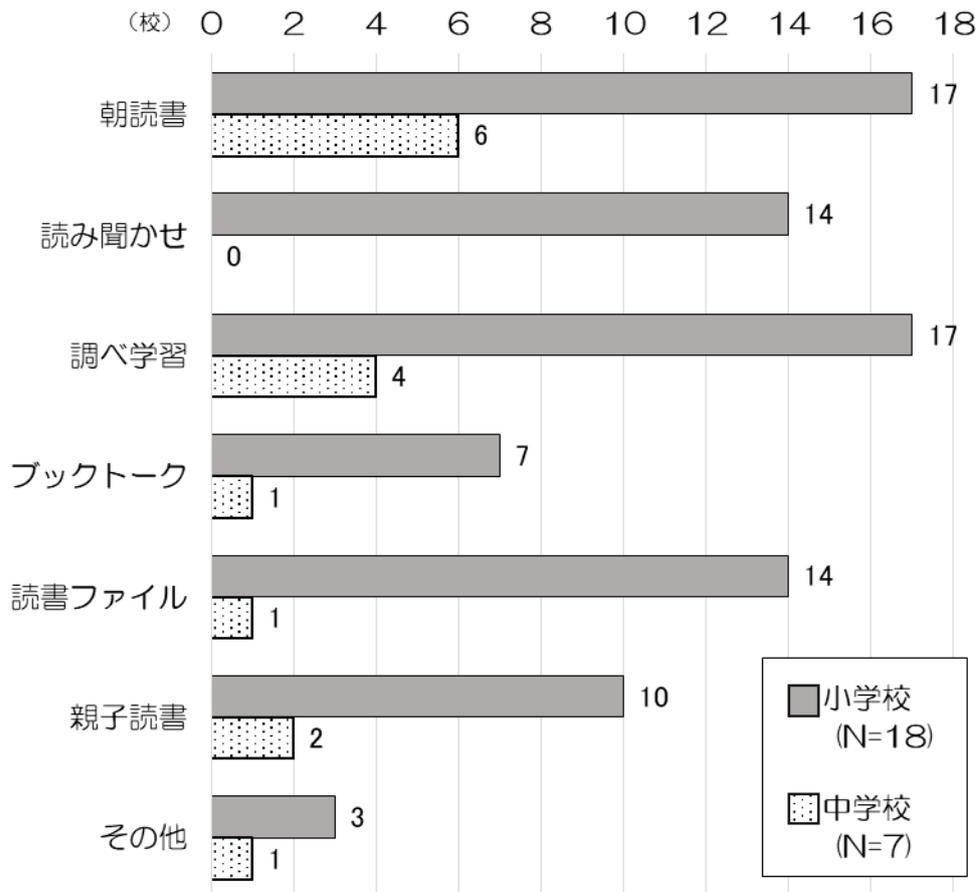
【その他】

- 保育園の本を増やして欲しい
- 児童書を探しやすくして欲しい
- 子ども向けの図書館だよりが欲しい
- 図書館の中に子どもの居場所が欲しい

(3) 学校図書館主任調査結果

①現在どのような読書活動を実施されていますか。(複数回答)

- 「朝読書」は小学校、中学校ともに、大半の学校で実施している。
- 小学校では「調べ学習」「読み聞かせ」「読書ファイル」も、多くの学校で実施している。
- 中学校では「調べ学習」を実施している学校が多い。

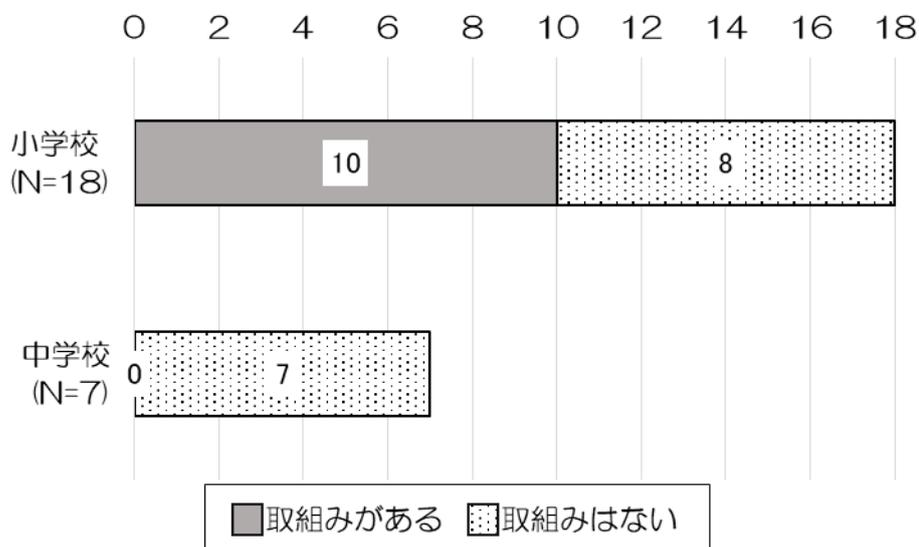


【その他】

- 視写
- 配膳読書
- 図書館祭り

②「読書の日」や「読書週間」に実施している取組みはありますか。(単数回答)

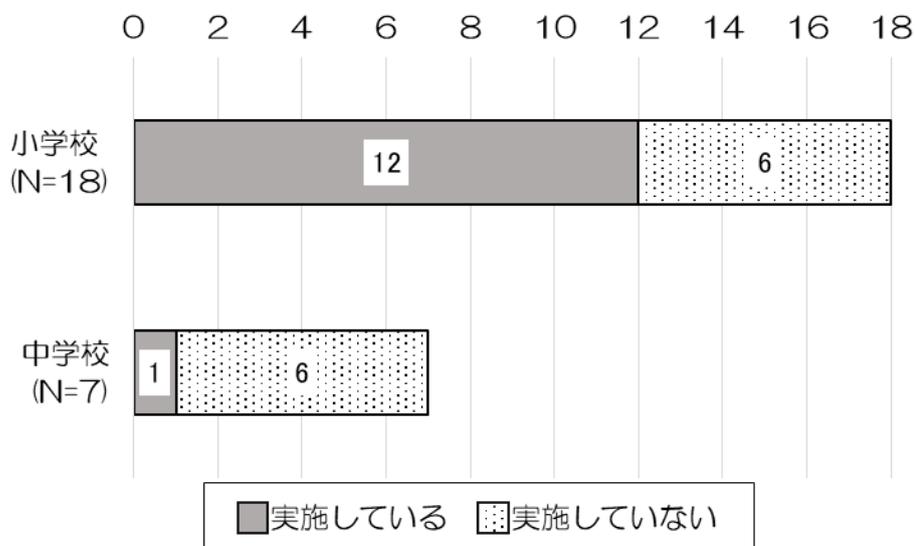
- 小学校では半数以上の学校が取組みを行っている。
- 中学校では取組みをしていない。



- 【取組内容】
- 図書館祭り
 - 職員による読み聞かせ
 - 読書キャンペーン
 - 掲示

③保護者へ読書活動等の啓発を実施していますか。(単数回答)

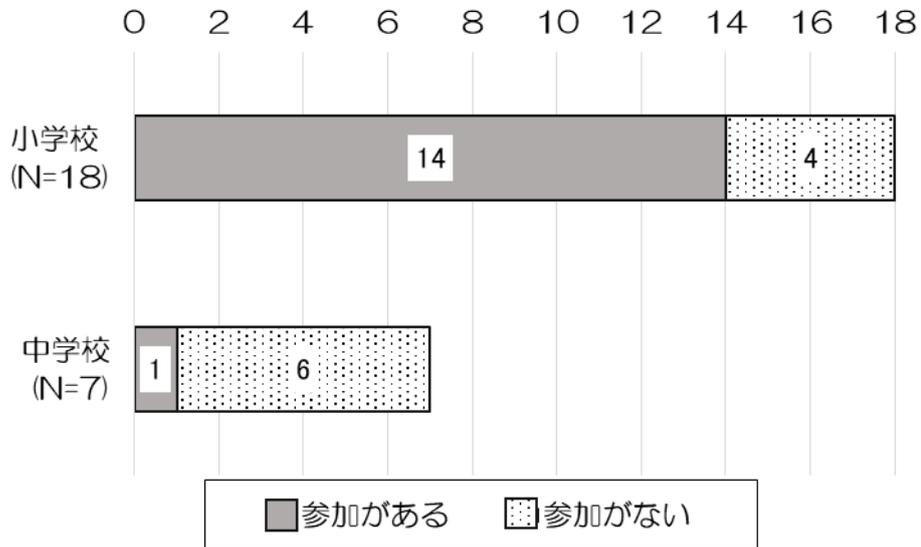
- 小学校では半数以上の学校が保護者への啓発を実施している。
- 中学校では保護者への啓発を実施していない学校が大半である。



- 【取組内容】
- 親子読書
 - 図書館だよりへの掲載

④保護者へ読書活動等の啓発を実施していますか。(単数回答)

- 小学校では7割以上の学校が保護者への啓発を実施している。
- 中学校では保護者への啓発を実施していない学校が大半である。

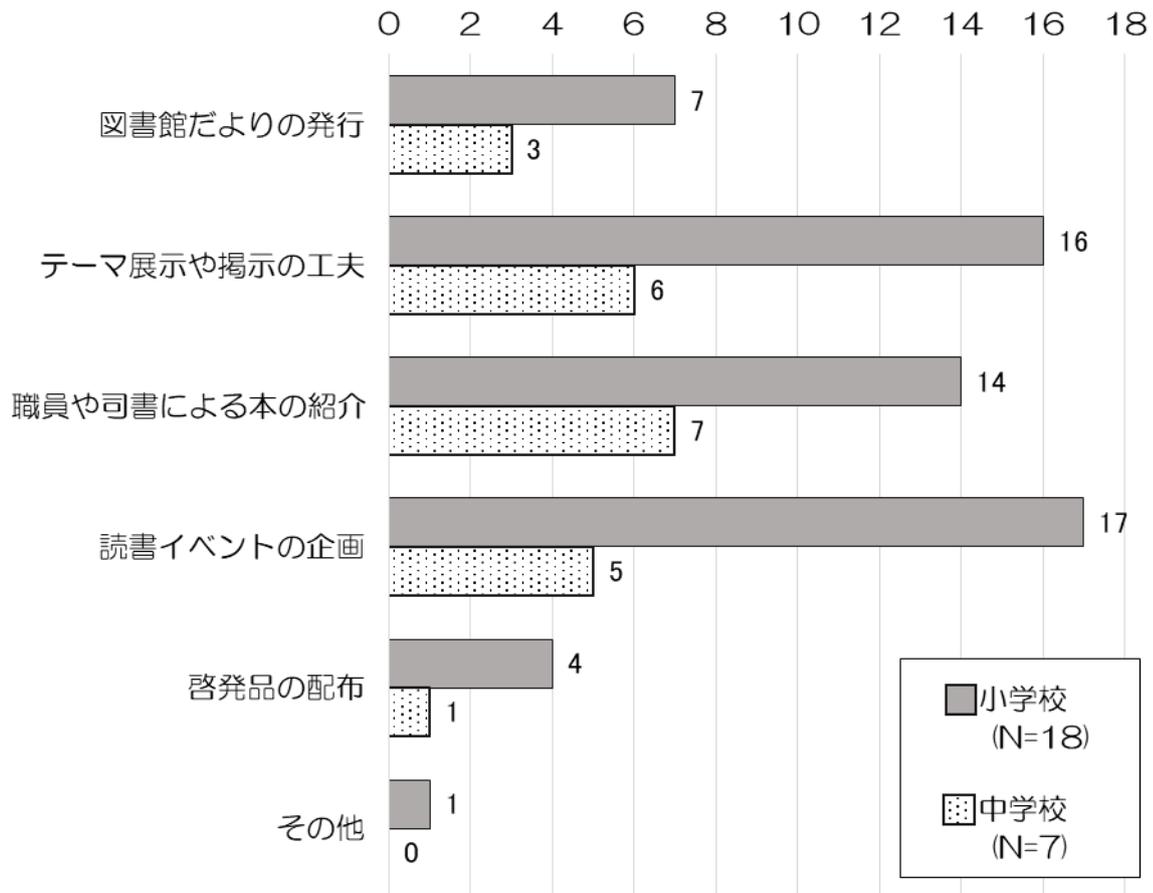


【取組内容】

- 読み聞かせ
- 本の補修
- 掲載物の制作

⑤学校図書館を利用してもらうためにどのような事を実施していますか。
(複数回答)

- 小学校では「読書イベントの企画」「テーマ展示や掲示の工夫」「職員や司書による本の紹介」を、多くの学校で実施している。
- 中学校では「職員や司書による本の紹介」を実施している学校が多い。



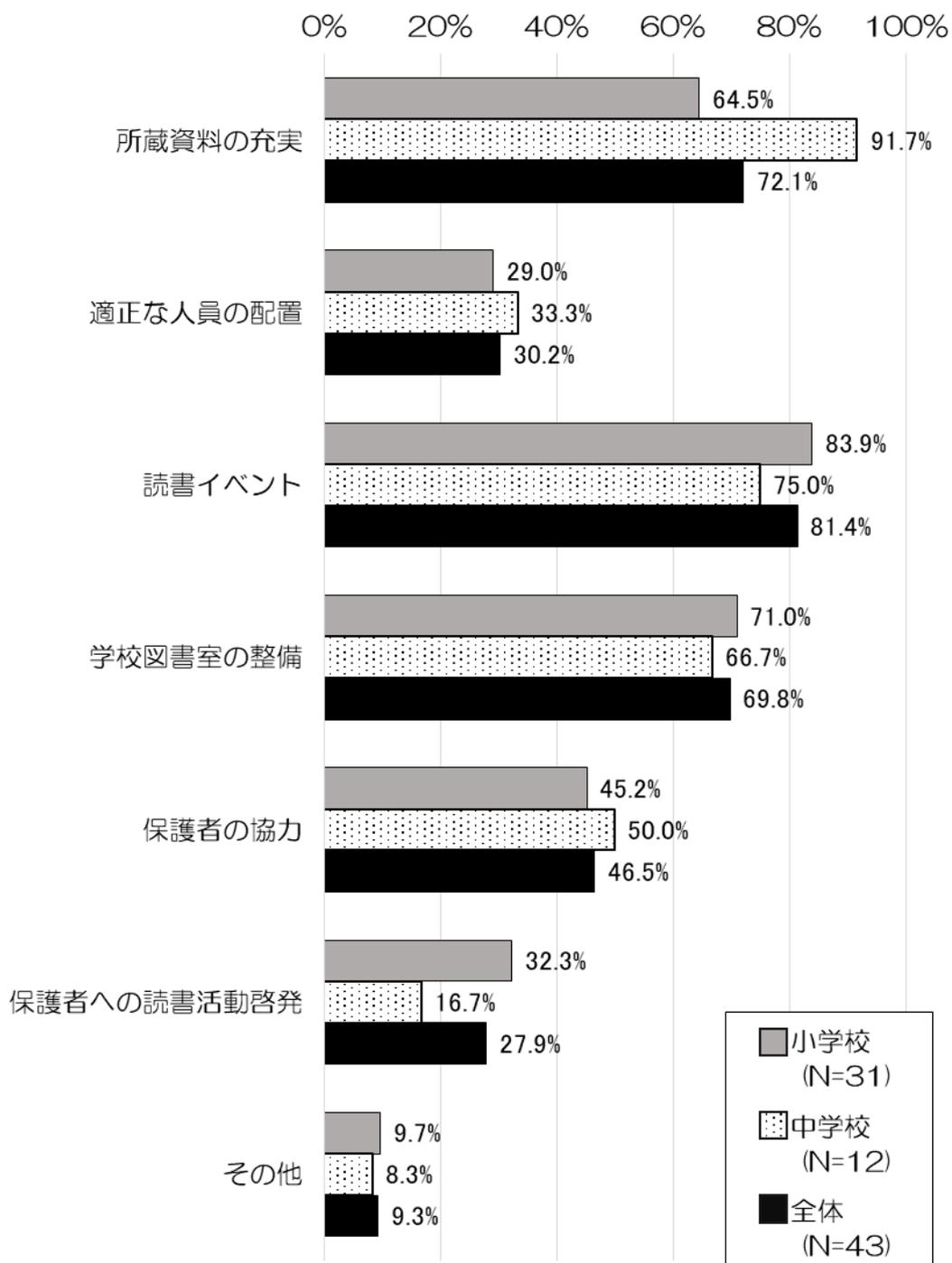
【その他】

- どこでも図書室

⑥学校での子どもたちの読書活動に何が必要だと思われますか。(複数回答)

※図書館主任と学校図書整理員の回答

- 小学校では「読書イベント」と答えた割合が最も高く、次いで「学校図書室の整備」となっている。
- 中学校では「所蔵資料の充実」と答えた割合が最も高く、次いで「読書イベント」となっている。



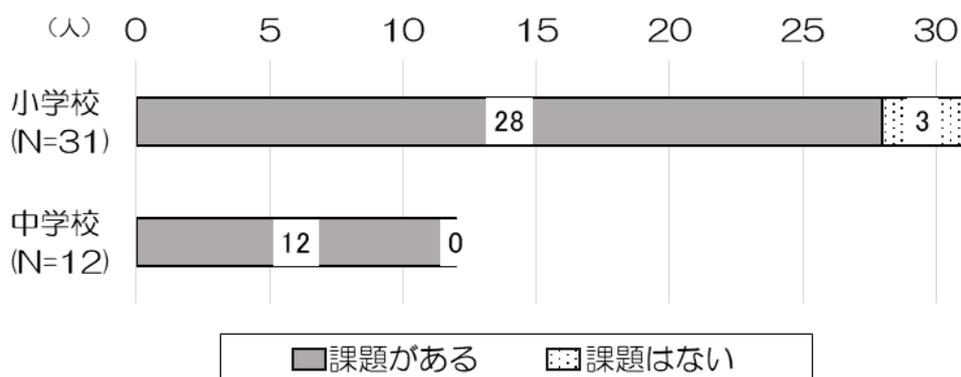
【その他】

- 読書のための時間の確保
- 調べ学習へのレファレンス
- 教科担任との連携

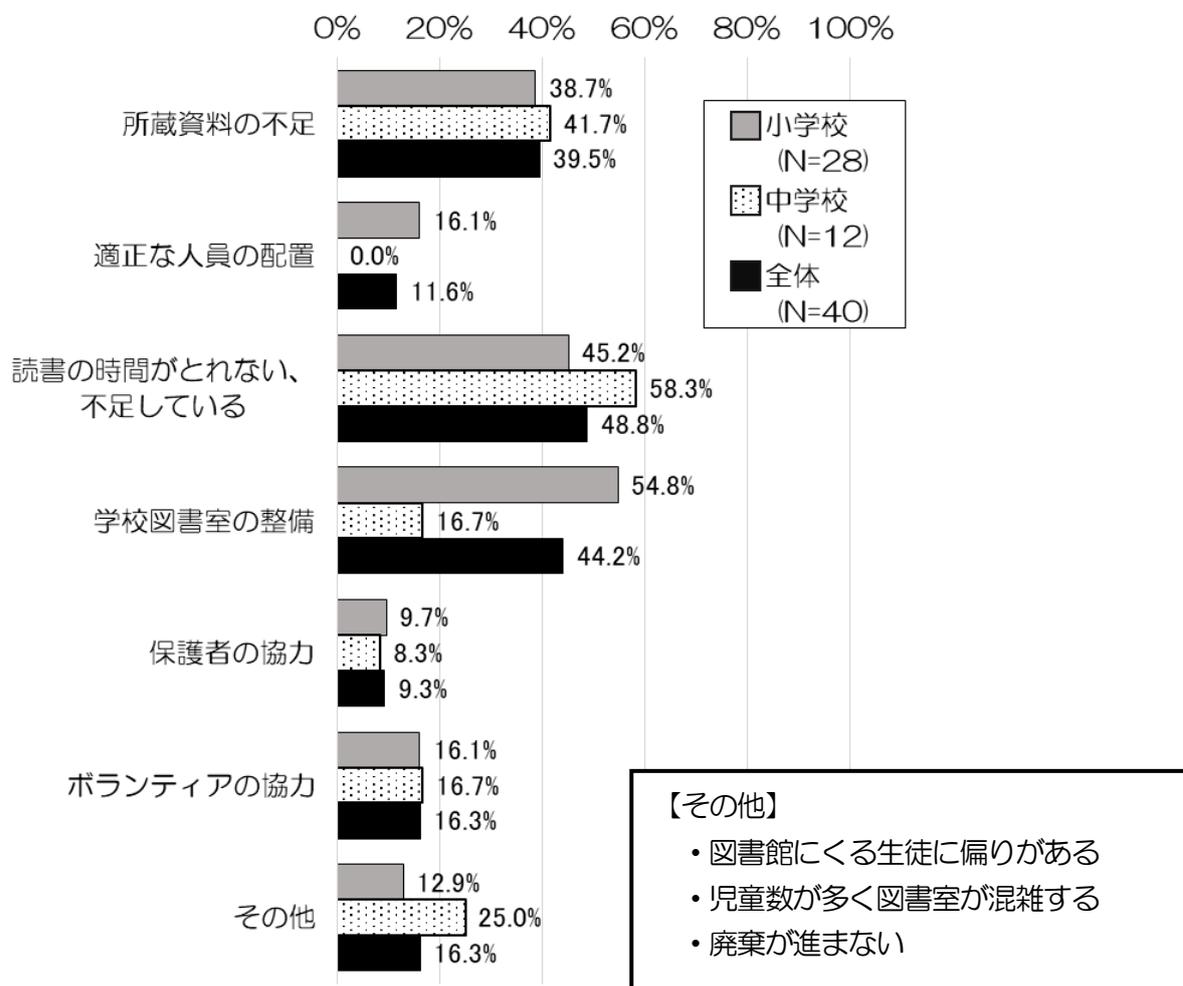
⑦ 自校の読書活動について課題があると思いますか。(単数回答)

※図書館主任と学校図書整理員の回答

- 小学校では9割以上の方が「課題がある」と答えており、その理由としては「学校図書室の整備」と答えた割合が最も高い
- 中学校では全ての方が「課題がある」と答えており、その理由としては「読書の時間がとれない、不足している」と答えた割合が最も高い



⑦-1 (⑦で「課題がある」と回答した人に)「ある」と思われる理由は何ですか。(複数回答)



⑧学校電子図書館を利用したことがありますか。(単数回答)

- ・小学校では8割以上が学校電子図書館を「利用したことがない」と答えており、中学校では全ての学校が電子図書館を「利用したことがない」と答えている。



- 【利用したことがない理由】
- ・ 利用方法などよく分からない
 - ・ 活用する時間がない
 - ・ 本が少ない
 - ・ 受入体制がない
 - ・ どのように活用すればよいか事例が知りたい
 - ・ 知らなかった

⑨学校電子図書館をどのように利用していますか。(複数回答)

※⑧で「利用している」と答えた方

- 授業の教材として 2校
- 英語学習 2校
- 読み聞かせでの活用 3校
- 朝読書 2校

(4) 保育園調査結果

①貴園ではどのくらいの頻度で読み聞かせを行っていますか。(単数回答)

- 全ての園で、「一日に一回以上」読み聞かせをしていると答えている。

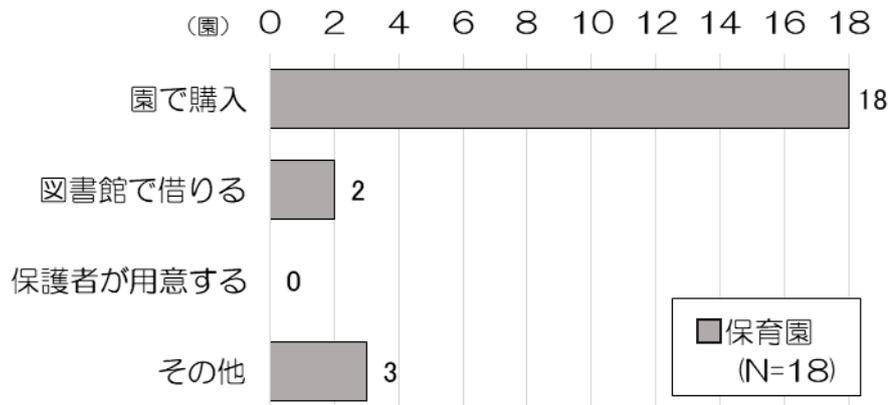
②読み聞かせはどなたが行っていますか。(複数回答)

- 全ての園で「職員」が読み聞かせを行っている。また、一部の園ではボランティアを活用している。

●職員	18園
●ボランティア	2園
●保護者	0園

③読み聞かせに必要な本はどのように確保していますか。(複数回答)

- 全ての園で、読み聞かせの本は「園で購入」している。

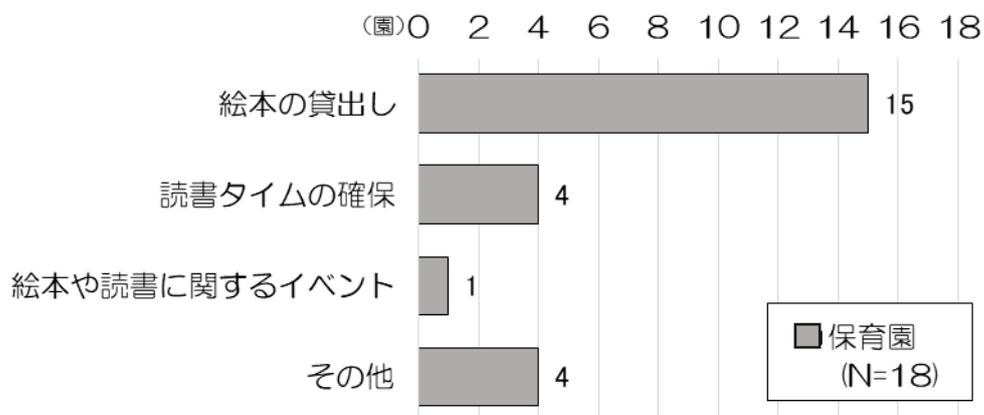


【その他】

- 職員の私物

④読み聞かせ以外にどのような読書活動を実施されていますか。(複数回答)

- ・読み聞かせ以外の読書活動は「絵本の貸出し」が最も多い。

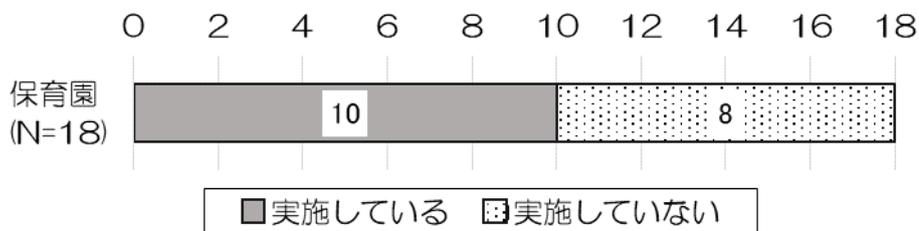


【その他】

- ・月間絵本を各家庭に配布
- ・子どもが絵本を自由に触れられる環境
- ・家庭教育学級での絵本の読み聞かせ
- ・絵本を見る時間を設けている

⑤保護者へ読書活動等の啓発を実施していますか。(単数回答)

- ・保護者への啓発は半数以上の園で「実施していると」答えている。

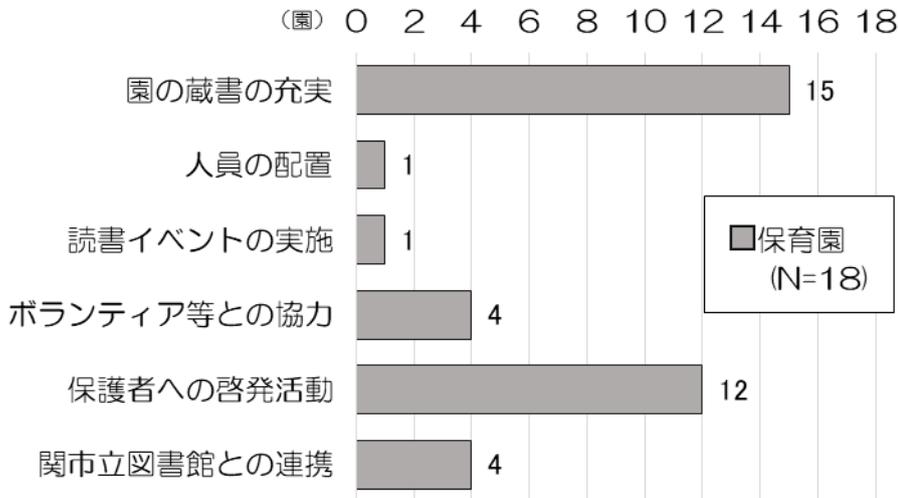


【実施内容】

- ・保護者会で話している
- ・絵本貸出しの奨励
- ・お便りへの掲載

⑥保育園での子どもたちの読書活動に何が必要だと思われますか。(複数回答)

- 園での読書活動に必要なことは、「園の蔵書の充実」が最も多く、次いで「保護者への啓発活動」が多い。



【実施内容】

- 保護者会で話している
- 絵本貸出しの奨励
- お便りへの掲載

⑦関市立図書館の団体貸出を利用したことがありますか。(単数回答)

- 8割以上の園が、団体貸出を「利用したことがない」と答えている。



【利用したことがない理由】

- 知らなかった
- 利用方法が分からない
- 園の本で十分
- 園が図書館から遠い

⑧関市立図書館の団体貸出をどのように利用していますか。(複数回答)

※⑦で「利用している」と答えた方

- 読み聞かせでの活用

3 アンケート調査クロス集計

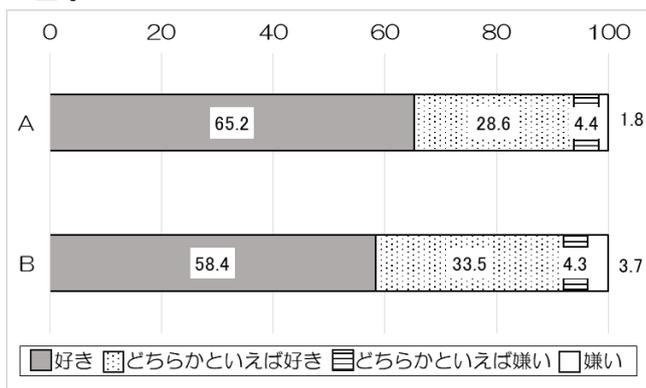
(1) 家族が本を読んでいるか

- ※ 「毎日読んでいる」「たまに読んでいる」(小2・227人) } と回答
- 「よく読んでいる」「時々読んでいる」(小5・233人、中2・110人) } Aグループ
- 「あまり読まない」「読まない」(小2・161人) } と回答
- 「あまり読んでいない」「読んでいない」(小5・110人、中2・109人) } Bグループ

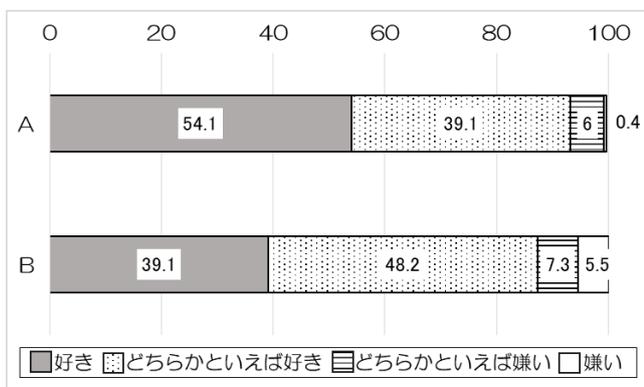
①あなたは本を読むのが好きですか。

- ・いずれの学年でも、Aグループのほうが本を読むのが「好き」と答える割合が高い傾向にある。
- ・いずれの学年でも、Bグループのほうが本を読むのが「嫌い」と答える割合が高い傾向にある。

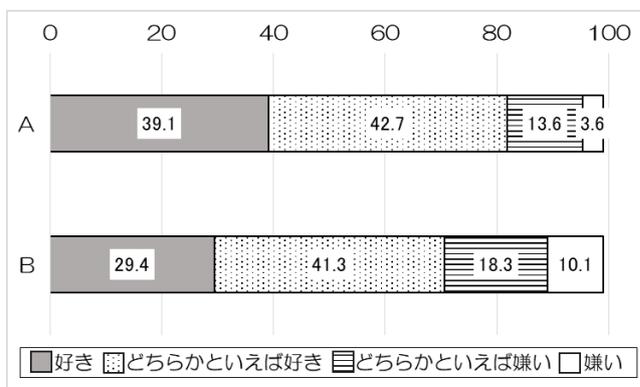
■小2



■小5



■中2

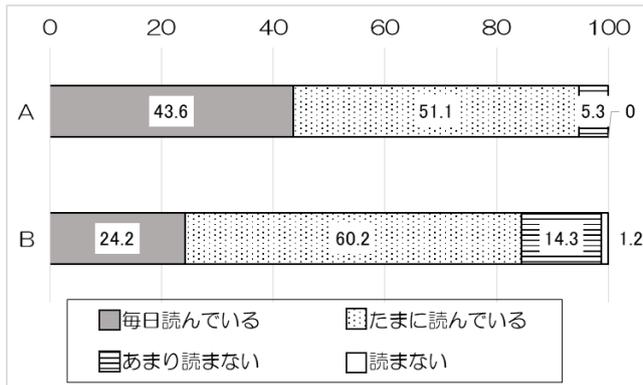


②あなたは本を読みますか。(小2)

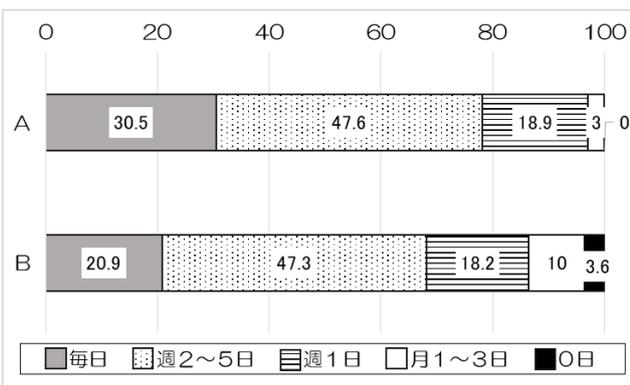
あなたは1か月のうちどれくらい本を読みますか。(小5、中2)

- いずれの学年でも、Aグループのほうが本を「毎日」よんでいると答える割合が高い傾向にある。
- いずれの学年でも、Bグループのほうが本を「読まない」と答える割合が高い傾向にある。

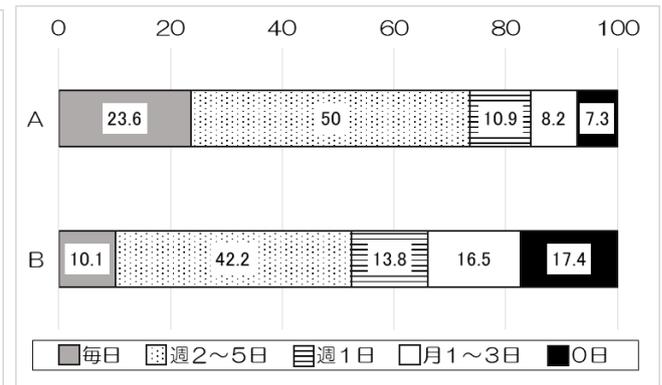
■小2



■小5



■中2

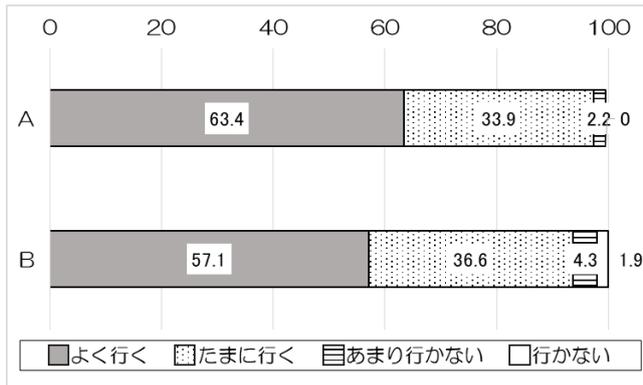


③あなたは学校の図書室へ行きますか。(小2)

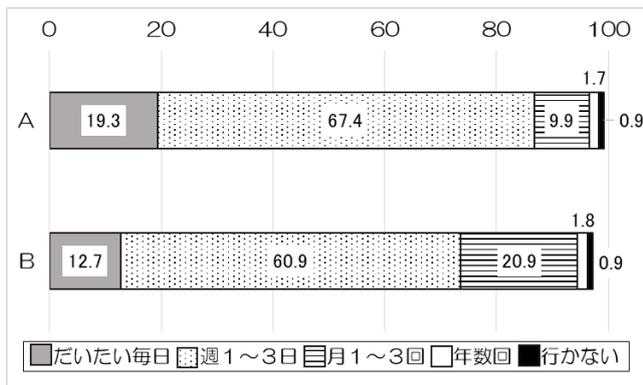
あなたは学校の図書室にどれくらい行きますか。(小5、中2)

- いずれの学年も、Bグループのほうが学校図書館へ行く回数が少ない傾向にある。
- 中学2年生では、Bグループのほうが「行かない」と答える割合が高い傾向にある。

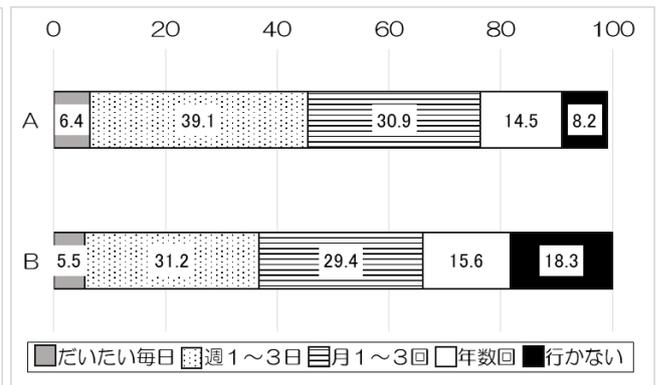
■小2



■小5



■中2

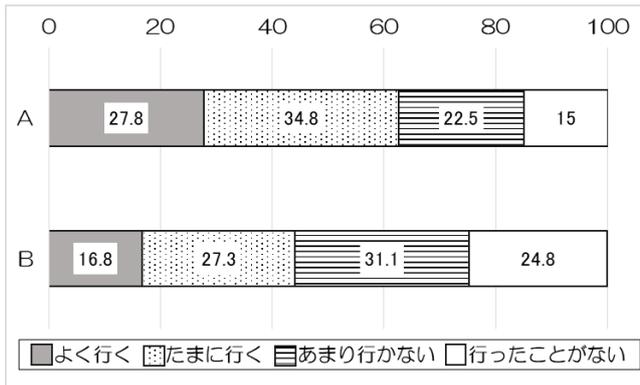


④あなたは市の図書館へ行っただことがありますか。(小2)

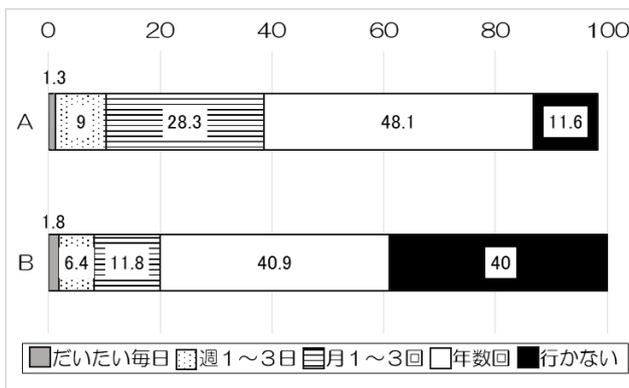
あなたは市の図書館にどれくらい行きますか。(小5、中2)

- いずれの学年も、Bグループのほうが市の図書館へ行く回数が少ない傾向にある。
- いずれの学年でも、Bグループのほうが市の図書館に「行かない」と答える割合が高い傾向にある。

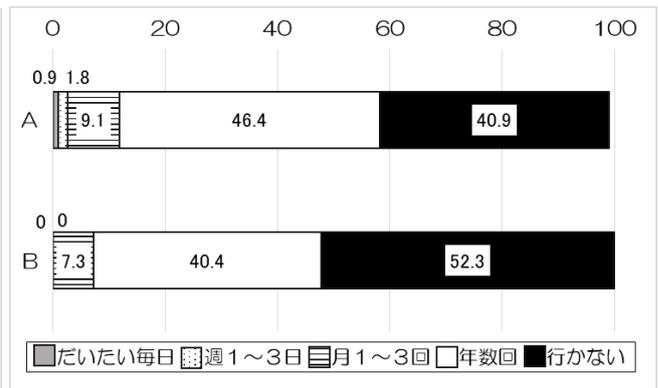
■小2



■小5



■中2



関市子どもの読書活動推進計画

【改定骨子】

1

計画の基本理念と施策の方向性

(1) 基本目標

子どもの読書活動は、子どもたちが言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かにするうえで、重要な体験活動です。さらに、読書を通じて多くの知識を得たり多様な文化を理解したりすることは、個性豊かな人間形成を図る上で大きな意味をもちます。

そこで、本市では「豊かな感性と知的好奇心を育む読書活動の推進」を基本目標に掲げ、子どもたちが読書に親しみ、読書習慣を身に付け、主体的に本から学び自らの考えを深めることができるよう、家庭、地域、学校等がそれぞれの役割を果たし、市全体で子どもの読書環境づくりに取り組みます。

(2) 基本方針

子どもたち自身がその成長に応じて多くの本に出会い、読書の楽しさに気づき、自ら読書を楽しむことができるような環境を作るために、次の3つを基本方針に掲げ、子どもの読書活動を推進します。

基本方針1 子どもが読書に親しむ機会の提供

子どもたちが読書の楽しさ、必要性を理解できるよう、家庭をはじめ、保育園や学校、図書館、地域において、様々な機会を捉え、子どもが読書に親しむきっかけづくりと読書を継続的に楽しむことができる力を育てます。

基本方針2 子どもの読書環境の整備・充実

子どもたちの快適な読書スペースと居場所を確保し、読書活動の拠点機能を強化するため、市立図書館と学校図書館の資料や設備等の充実を図ります。また、子どもの読書活動を支えるボランティア等の育成や活動を支援するとともに、司書、司書教諭、学校図書館整理員等の資質向上に努めます。

基本方針3 子どもの読書活動に関する普及・啓発

子どもの読書活動推進に対する関心や理解の促進のため、子どもから子どもをとりまく大人まで幅広い市民に対して、読書活動の意義や重要性などについての広報活動や情報発信の強化に努めます。

(3) 計画の体系

基本目標 豊かな感性と知的好奇心を育む読書活動の推進

基本方針1 子どもが読書に親しむ機会の提供

施策1 家庭における読書活動の推進

施策2 学校等における読書活動の推進

施策3 図書館における読書活動の推進

施策4 地域における読書活動の推進

基本方針2 子どもの読書環境の整備・充実

施策1 関市立図書館における読書環境の整備・充実

施策2 学校図書館における読書環境の整備・充実

基本方針3 子どもの読書活動に関する普及・啓発

施策1 子どもの読書活動に関する理解と関心の普及・啓発の推進



関市子どもの読書活動

推進計画



関市教育委員会

関市子どもの読書活動推進計画

1 策定の主旨

今日、子どもたちを取り巻く生活環境は「少子・高齢化」の急速な進行や、夫婦を単位とした核家族化の定着。男女共同参画の進展による専業主婦の相対的減少など、従来とは大きく変化してきている。

一方で、テレビをはじめとする様々なメディアの発達や、パソコンに代表されるIT機器の日常生活への浸透等による生活スタイルの変化、さらには幼児期からの読書習慣の未形成などにより、子どもたちの『読書離れ』・『活字離れ』が指摘されるようになって久しいものがある。あわせて、『本を読む子と読まない子』の二極分化の傾向も見られるようになってきている。

国際的な機関である、OECD(経済協力開発機構)が2000年に行った、世界32ヶ国、26万5千人の15歳の生徒が参加した学習到達度調査(PISA)では、「趣味としての読書をしない」と答えた日本の生徒は55%と参加国中最も高く、世界の中でも読書に対して消極的な国となりつつあり、更に2003年の同調査では、全ての学習の基礎的能力とされる、『総合読解力』も8位から14位へと低下したことが報告されている。

読書活動は、子どもが言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、想像力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身につけていく上で欠くことができないものであり、社会全体でその推進を図って行くことは重要な課題である。

この観点から、国においては、平成13年11月に議員立法により法案を国会に提出し、12月に『子どもの読書活動の推進に関する法律』として公布・施行した。さらに県では、平成16年3月に『岐阜県子どもの読書活動推進計画』を策定し、公表した。

当市においても、国や県の指針に沿い、関市教育委員会として『子どもの読書活動推進計画』を策定し、今後の読書活動の充実に向け推進を図るよう努めたい。

2 子どもの読書活動推進の基本理念

今回、法の趣旨を踏まえ基本計画を策定するに当たり、子どもの読書活動を推進するためには、家庭・地域住民の「いつでも読書に親しむ習慣」の醸成がキーポイントになることを認識し、生涯学習の理念に立ち基本計画を策定する必要があり、下記事項を基本理念とする。

読書は、ことばを学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かにするうえで、重要な体験活動である。

読書は、個性豊かな人間形成を図る上でも有効な役割を担う、体験活動である。

3 基本方針

基本理念を踏まえ、当市の読書活動推進の方針を次のように定め、関係者がその具現を目指すよう努める。

- (1) 子どもが読書に親しむ機会の提供と、諸条件の整備・充実を図る。
 - ・ 乳幼児期から読書に親しむような環境をつくるよう努める。
 - ・ 子どもの発達段階に応じて、子ども自身が読書の楽しさを知るようなきっかけをつくる。
 - ・ 子どもが興味を持ち、感動する本等を身近に整える。
 - ・ 家庭・地域・学校が連携し、読書活動を広げ読書体験を深める。
- (2) 家庭・地域・学校を通じた、社会全体での取り組みを推進する。
 - ・ 家庭・地域・学校がそれぞれ担うべき役割を果たしながら、子どもが読書に親しむ機会の充実を図る。
 - ・ 学校、図書館などの関係機関、ボランティア団体等が相互に連携し、協力を図りながら取り組みを推進する。
- (3) 子どもの読書活動の意義や重要性について、広く理解と関心を深めるよう普及・啓発を図る。
 - ・ 子どもを取り巻く関係者、とりわけ保護者・教員・保育士等が読書活動に理解と関心を持つよう努める。
 - ・ 子どもたちに地域に伝わる民話などを聞かせたり、大人自らが読書したりする姿を示し、子どもの心を触発し読書意欲を高める。

4 基本目標

子どもの読書活動を活性化するには、市民全体が読書活動に親しむ市民性の醸成が、生涯学習の理念からも重要であることを認識し、次のように目標を設定し、意図的・計画的に諸事業を実施し、一層の推進を図る。

読書に親しみ、知性と品性にみちた市民性の創出

自ら課題を持ち、読書に親しむ子どもの育成を目指す
市民それぞれが、年齢や目的に応じた読書体験をとおり、生涯学習まちづくりの実現を目指す

－ 豊かな感性と知的好奇心を育む読書活動の推進 －

5 子どもの読書活動推進のための方策

(1) 家庭・地域における読書活動の推進

家庭において読書に親しむ習慣の確立

- ・ 親子読書(親による読み聞かせ、子どもと一緒に読書)
- ・ 親も読書
- ・ テレビ・パソコン漬けの生活習慣の見直し
- ・ 親子で図書館に
- ・ 「家庭読書の日」を市内全家庭に呼びかける

子育て講座等の機会を利用した読書活動の啓発

- ・ 保健センターでの親子を対象にした啓発事業
- ・ 公民館等における各種講座の活用
- ・ 子育て支援センターでの活動
- ・ ブックスタートの充実

啓発用リーフレット等の作成と配布

- ・ 4月23日「子ども読書の日」及び4月23日～5月12日「子ども読書週間」における催しや啓発活動の一層の推進

(2) 市立図書館における読書活動の推進

児童図書及び児童図書コーナーの充実

児童図書を仲介とした活動の実施

- ・ 親子読書教室
- ・ 各種イベントの開催
(クリスマス会、古本まつり、親子おりがみ・きりがみ教室、ふるさと講座、読書講演会 他)

図書館サービスの拡充

- ・ 平成17年2月7日に合併した旧武儀郡下の施設を分館・分室に位置づけサービスの向上に努める。

ボランティア活動及び情報化による図書館サービスの充実

- ・ 読み聞かせボランティアによる「おはなしひろば」
- ・ 関市読書サークル協議会への協力依頼
(おはなし広場「どんぐり」、かみふうせん、古典文学をきく会、せき読書会、関朗読奉仕会、ふるさとを語る会、武芸川読書サークル、やまゆり読書サークル)
- ・ 点訳ボランティアによる点字本を書架に配架し、点字本に触れる機会をもつことで生活弱者への「思いやりの心」を育てる
- ・ 市民ボランティアによる図書修理・図書の配架、整理・ブックスタート補助
- ・ インターネットによる検索サービスの向上

学習活動及び各種研修会等の開催

- ・ 図書館司書研修会、関市読書サークル協議会、各種読書ボランティア会議 他
- ・ 展示活動

学校図書館との連携・協力の強化

- ・ 学校への団体貸出
- ・ 図書館員による読み聞かせサービス
- ・ 各種体験学習の受け入れ
- ・ 学校図書館と市立図書館との連絡会議

(3) 保育(幼稚)園、小・中学校、高校、における読書活動の推進

児童生徒の読書習慣の確立と読書指導の充実

- ・ 学校図書館コンクールへの積極的な参加
- ・ 蔵書の充実及び図書館の整備
- ・ 学校図書館を活用した「読書指導計画」の立案とその実施
- ・ 毎朝の読書など、学校の日課に読書の時間を確保
- ・ 学校図書館協議会における情報交換や読書指導についての研究協議

- ・ 読書感想文コンクールの開催、読書感想文集の編集・配布
- ・ 各種ボランティアによる読み聞かせ活動(読書ボランティア、PTA母親委員会等)
- ・ ボランティアによる図書修理及び図書館の整理整頓
- ・ 「子ども読書の日」や「図書館まつり」の充実や工夫
- ・ 教員等の研修及び意識の高揚
- ・ 学校図書館協議会での情報交換及び促進方策等の検討
- ・ 先進地、先進校等の参観及び研修
- ・ 学級図書の活用や充実
- ・ 幼稚園や保育園における読書活動
 - ・ 絵本コーナー、読書コーナーの設置
 - ・ 幼稚園教諭や保育士及びボランティアによる読み聞かせ
 - ・ 小中学生による幼児への読み聞かせ活動(保幼小中一貫教育の活動として、総合的な学習の時間を利用して)
 - ・ 「出前図書館」を実施し、幼児期から本に親しむ機会を工夫する
- ・ 学校図書館の情報化
 - ・ 蔵書情報のデータベース化
 - ・ インターネットの活用
 - ・ 学習情報センターとしての機能の充実
- ・ 市立図書館との連携・協力の強化
- ・ 学校司書教諭の配置(学校図書館法)
 - ・ 市内全ての学校に配置
 - ・ 学校司書教諭としての役割遂行及びリーダーシップの発揮
- ・ 図書整理員の配置
 - ・ 市内全ての学校に配置
- ・ 学校図書館図書整備5ヵ年計画に沿った学校図書館図書資料の充実(平成14年～18年 地方交付税措置)

6 市の推進体制

計画を推進するため、市内の「子ども」に関する関係者団体等で「推進会議」を組織し、継続的に連絡調整をはかる。

- ・ 推進を実施するための組織・計画(後記)

関市子ども読書活動推進体制

